



下水道モニター 平成 23 年度 第 4 回アンケート結果

第 4 回アンケートでは、モニターの方のご家庭での「生活排水や油の処理について」や「ダイエットレシピ」に対するご意見を伺いました。また、下水道局の行う「キャンペーン」についてご意見をお伺いしました。

この報告書は、その結果をまとめたものです。

- ◆ 実施期間 平成 23 年 10 月 17 日（月）～11 月 1 日（火）16 日間
- ◆ 対 象 者 東京都下水道局「平成 23 年度下水道モニター」
※東京都在住 20 歳以上の男女個人
- ◆ 回答者数 628 名
- ◆ 調査方法 ウェブ形式による自記式アンケート

I 結果の概要

II 回答者属性

III 集計結果

1. ご家庭での生活排水の実態について
2. ご家庭での油の処理について
3. ダイエットレシピについて
4. 『油・断・快適！下水道』キャンペーンについて
5. 新たなキャンペーン展開について
6. 東京都下水道局へのご意見・ご要望など

I 結果の概要

1. ご家庭での生活排水の実態について

4～18 頁

- ◆【生活排水の実態について】…全体で回答の割合が高くなった順に「2.浴室等の抜け毛はゴミとして捨てる」96%、「3.洗濯時の糸くずはゴミとして捨てる」91%、「1.台所の流しに水切り袋などを置く」83%である。男女別および地域別にみると、上位3位まで全体と同じ傾向となった。年代別にみると、20歳代を除き、全体と同じ傾向となった。
- ◆【家庭からの排水が引き起こす影響について】…全体では、「知らなかった」との回答が高くなった順に「4)宅地内の排水管には、主に硬質塩化ビニル管が使われているため、熱湯を流すと管が変形することがあること」60%、「3)お米のとぎ汁には、海に赤潮を発生させる原因となる「りん」や「ちっ素」が多く含まれていること」59%、「2)下水道管に付着して固まった油の塊（オイルボール）が大雨が降った時に流れ出して川や海を汚してしまうこと」37%となった。
- ◆【排水トラブルの実態について】…全体では、「1.排水トラブルあり」は6%であった。
- ◆【排水トラブルの内容について】…「排管つまり・流れが悪い」が59%、次いで「におい」および「漏水」18%であった。また、トラブルの発生の場所をみると、「台所」および「トイレ」がともに18%、次いで「風呂」13%となった。
- ◆【家庭排水に関心のない方に関心を持ってもらうための方策】…「テレビ・ラジオの活用」27%、「排水管の実物を見せる」14%となった。次いで、「広報活動の活発化」10%、「都区市広報紙を活用」9%となった。

2. ご家庭での油の処理について

19～26 頁

- ◆【揚げ物料理の頻度】…「1.週に2, 3回程度」と「2.週に1日程度」を足した「週1回以上」揚げ物料理を作る人についてみる。全体では、「週1回以上」と回答したのは36%となった。男女別にみると、男性は38%、女性が34%となった。年代別にみると、20歳代から50歳代までは年代が上がるにつれて「週1回以上」との回答が高くなる。50歳代をピークとして、60歳代、70歳以上と回答割合が低くなる。地域別にみると、23区で32%、多摩地区で41%となった。
- ◆【廃油の処理方法】…全体では「1.紙や布などにしみ込ませて「燃やすゴミ」として出している」52%、「3.炒め物などに利用して使い切るようにしている」28%、「2.市販の凝固剤で固めて燃やすゴミに出している」26%となった。
- ◆【油で汚れたお皿やお鍋などの洗い方について】…全体では「1.いつもふき取ってから洗っている」48%、「2.ときどきふき取って洗っている」36%、「3.ふき取らずに洗っている」14%となった。男女別・地域別では全体と同じ傾向を示した。年代別にみると、40歳代～70歳以上において全体と同じ傾向を示した。
- ◆【ふき取らない理由について】…全体では「4.油汚れが少ないとき」60%、「1.面倒だから」35%、「7.油を分解する洗剤を使っているから」16%となった。男女別・地域別にみると全体と同じ傾向を示した。また、年代別にみると、全体と同じ傾向を示したのは、60歳代のみであった。

3. ダイエットレシピについて

27～32 頁

- ◆【ダイエットレシピの認知状況】…全体では回答が高くなった順に「知らなかった」63%、「知っていた」37%となった。男女別にみると、男性では「知っていた」25%に対して、

女性では 46%となり、女性の方が 21 ポイント高くなった。

- ◆【作ったことのある「ダイエットレシピ」について】…全体では「3.揚げない茄子の揚げ煮浸し」14%、「12.炒飯」13%、「6.スパゲッティトマトソース」12%となった。

4. 『油・断・快適！下水道』キャンペーンについて

33～44 頁

- ◆【『油・断・快適！下水道キャンペーン』の認知状況について】…全体では回答が高くなった順に「3.知らなかった」53%、「2.モニターになってから知った」36%、「1.モニターになる前から知っていた」11%となった。次に男女別・地域別にみると、全体と同じ傾向を示した。年代別にみると、年代が上がるにつれて「知らなかった」と回答する割合が低下する。
- ◆【キャンペーン期間中の取り組みの認知度】…全体では「6.この中の取り組みで見たものはない」55%、「1.広報東京都での告知」36%、「2.区市町村の広報紙での告知」17%であった。次に男女別・地域別・年代別にみると、全体と同じ傾向を示した。
- ◆【キャンペーンの取り組みの有効性について】…全体で回答の割合が高くなった順に「1.広報東京都での告知」43%、「4.スーパー店頭でのPR」41%、「2.区市町村の広報紙での告知」37%となった。男女別にみると上位 3 位まで全体と同じ傾向となった。
- ◆【『油・断・快適！下水道キャンペーン』のポスターの理解度】…全体では回答が高くなった順に、「1.油を含んだ排水を流すとどのような影響を引き起こすか理解できた」76%、「4.油を流さないことでどのような効果があるのかわかった（節水、節約、時短効果）」67%、「2.汚れをふき取るタイミング（皿を洗う前）がわかった」50%となった。次に男女別・地域別にみると、上位 3 位までは全体と同じ傾向を示した。
- ◆【油污れをふき取ることの効果】…全体では、「1.知っていた」67%、「2.聞いたことがある」21%、「3.知らなかった」12%となった。次に男女別、年代別、地域別にみると、上位 3 位まで全体と同じ傾向を示した。

5. 新たなキャンペーン展開について

45～54 頁

- ◆【キャンペーン展開について】…全体では回答が高くなった順に「1.油・断・快適！下水道キャンペーンを継続したほうがよい」79%、「2.新たなキャンペーンを展開したほうがよい」16%、「4.その他」3%となった。
- ◆【キャンペーン展開の回答の理由】…上記設問において「現在のキャンペーンを継続したほうがよい」と答えた方の理由は、「いまだ認知度が低いため」との回答が 38%、「継続が浸透につながる」との回答が 36%であった。次に「新たなキャンペーンを展開したほうがよい」と答えた方の理由では、「キャンペーンを知らなかった」との回答が 27%、「インパクトが小さい・地味」との回答が 24%であった。
- ◆【新たなキャンペーンおよびアイデア】…「テレビの活用」と回答した方が 20%と最も高かった。次に「テレビ以外の媒体の工夫」と回答した方も 19%と高かった。

6. 自由意見

55～58 頁

- ◆【東京都下水道局へのご意見・ご要望】…「ダイエットレシピ」に関する意見が 39%と最も高く、次いで「PR 方法へのご意見」23%、「PR 不足へのご意見」14%と続く。

Ⅱ 回答者属性

- 平成 23 年度下水道モニター数は、アンケート実施時で 1,023 名である。
- 第 4 回アンケートは、平成 23 年 10 月 17 日（月）～11 月 1 日（火）までの 15 日間で実施した。その結果、628 名の方からの回答があった。（回答率 61%）

■回答者 性別・年代

性別・年代		回答者数	モニター数	回答率
男性	20 歳代	20	38	52.6%
	30 歳代	51	86	59.3%
	40 歳代	74	122	60.7%
	50 歳代	33	55	60.0%
	60 歳代	68	90	75.6%
	70 歳以上	30	38	78.9%
	小計	276	429	64.3%
女性	20 歳代	28	74	37.8%
	30 歳代	115	214	53.7%
	40 歳代	104	168	61.9%
	50 歳代	57	75	76.0%
	60 歳代	39	52	75.0%
	70 歳以上	9	11	81.8%
	小計	352	594	59.3%
合計		628	1,023	61.4%

■回答者 居住地域

地 域	回答者数	モニター数	回答率
2 3 区	363	592	61.3%
多摩地区	265	431	61.5%
合 計	628	1,023	61.4%

■回答者 職業

職 業	回答者数	モニター数	回答率
会社員	216	380	56.8%
公務員	2	0	—
自営業	44	59	74.6%
学生	14	21	66.7%
私立学校教員・塾講師	7	6	116.7%
パート	54	80	67.5%
アルバイト	12	17	70.6%
専業主婦	185	327	56.6%
無職	74	101	73.3%
その他	20	32	62.5%
合計	628	1,023	61.4%

※モニター数と回答者数については、職業の変化等により、一致しないことがある。

Ⅲ 集計結果

※ 文中の「n」は、質問に対する回答者数で、比率(%)はすべて「n」を基数(100%)として算出している。
また、小数点以下を四捨五入してあるので、内訳の合計が100%にならないこともある。

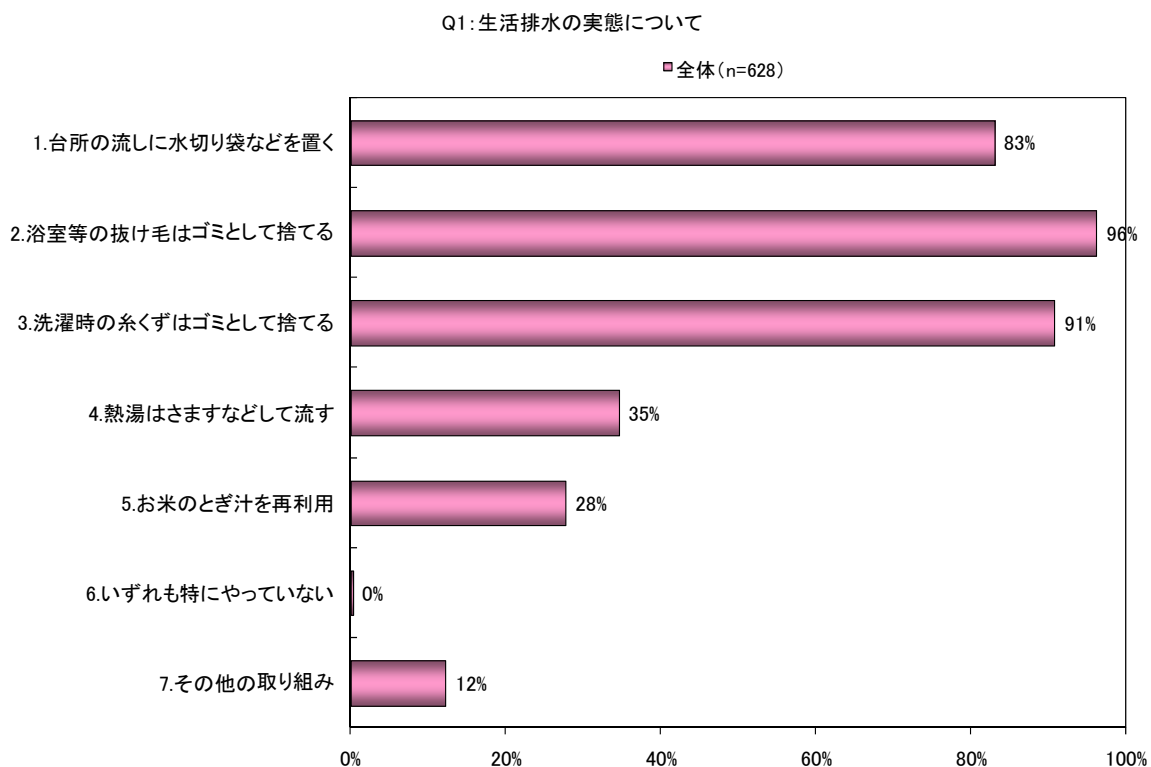
1. ご家庭での生活排水の実態について

1-1. 生活排水の実態について

- 家庭の生活排水に対して日頃から実行していることについてみる。全体で回答の割合が高くなった順に「2. 浴室等の抜け毛はゴミとして捨てる」96%、「3. 洗濯時の糸くずはゴミとして捨てる」91%、「1. 台所の流しに水切り袋などを置く」83%である。
- 男女別および地域別にみると、上位3位まで全体と同じ傾向となった。
- 年代別にみると、20歳代を除き、全体と同じ傾向となった。20歳代は「2. 浴室等の抜け毛はゴミとして捨てる」94%、「1. 台所の流しに水切り袋などを置く」69%、「3. 洗濯時の糸くずはゴミとして捨てる」63%となった。

Q1. 次の事柄のうち、あなたのお宅で日頃から実行していることはありますか。以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。(複数回答)。

図 1-1 生活排水の実態について



「7. その他の取り組み」の記載内容のうち、主な意見を以下に紹介する。

- ◆ 油は紙でふき取る
- ◆ 風呂水の洗濯利用、風呂水の植物水やり利用
- ◆ 細かい穴が付いている三角コーナーでこす
- ◆ 風呂水を再利用 除湿機の水を打ち水につかう
- ◆ 油類は出来るだけ下水に流さない
- ◆ 米は無洗米を使っている
- ◆ ディスポーザーの設置（マンション）
- ◆ カップ麺等の残り汁は庭に埋める。

図 1-2 生活排水の実態についての男女別状況

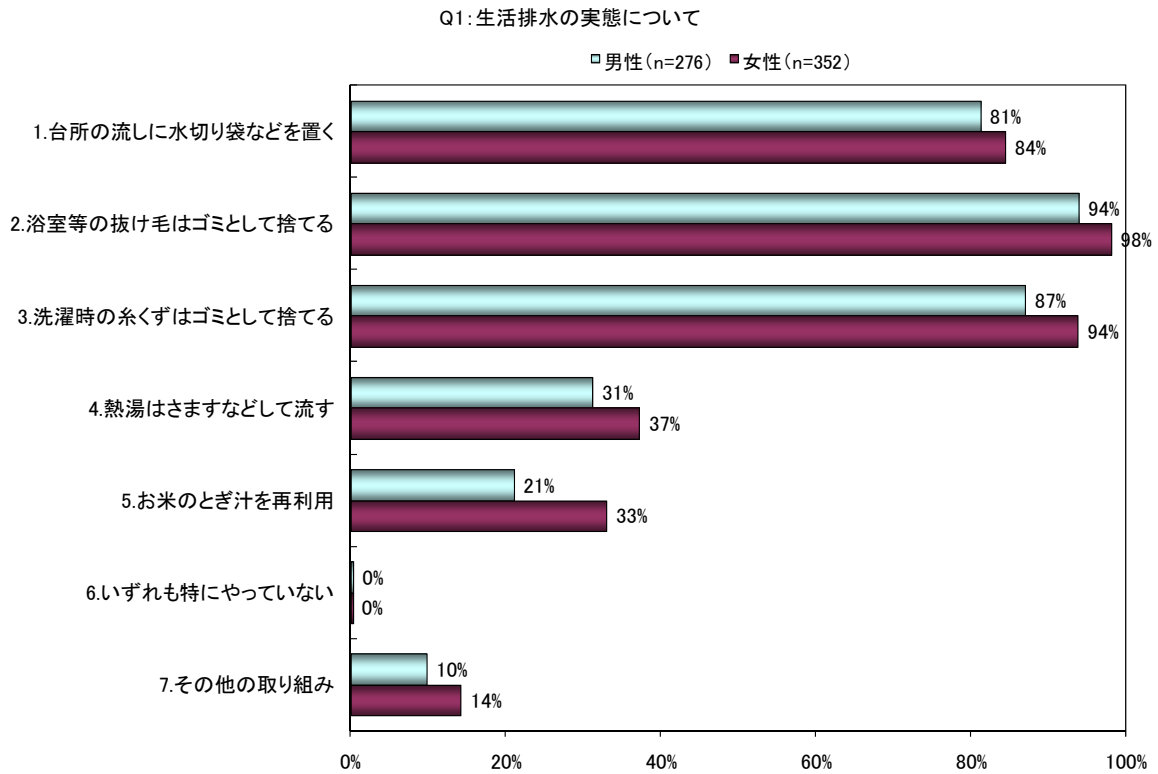


図 1-3 生活排水の実態についての地域別状況

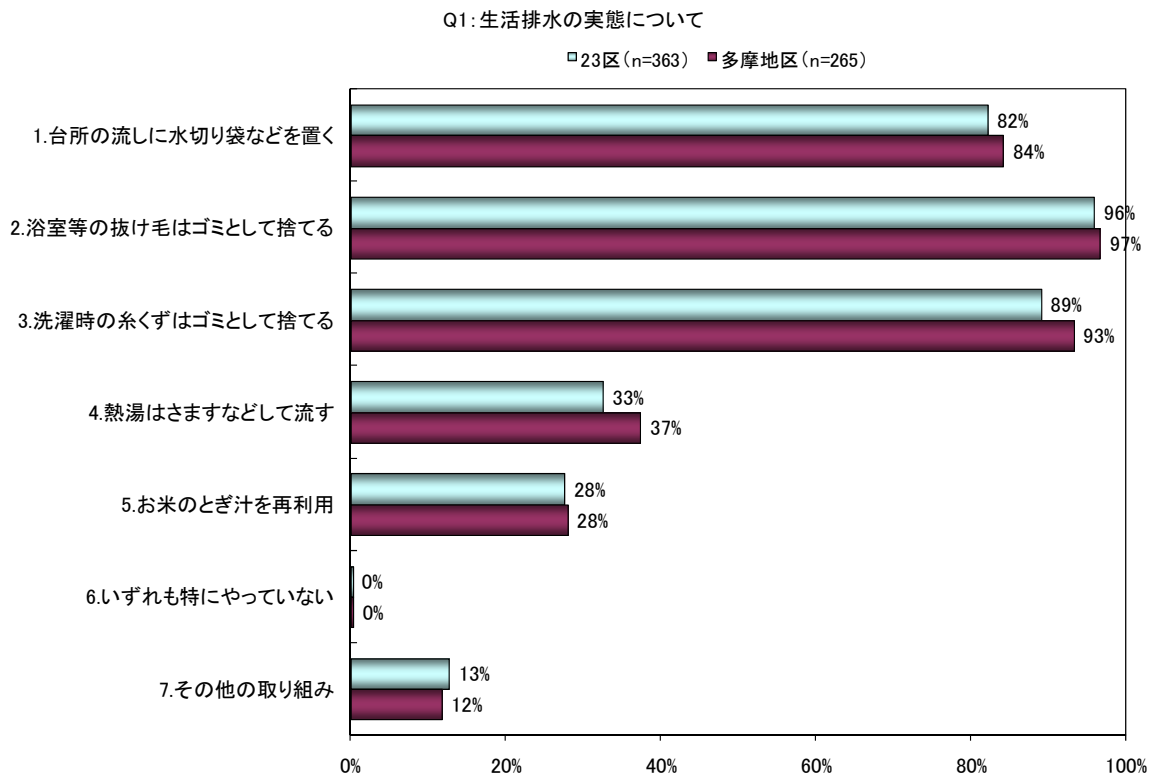
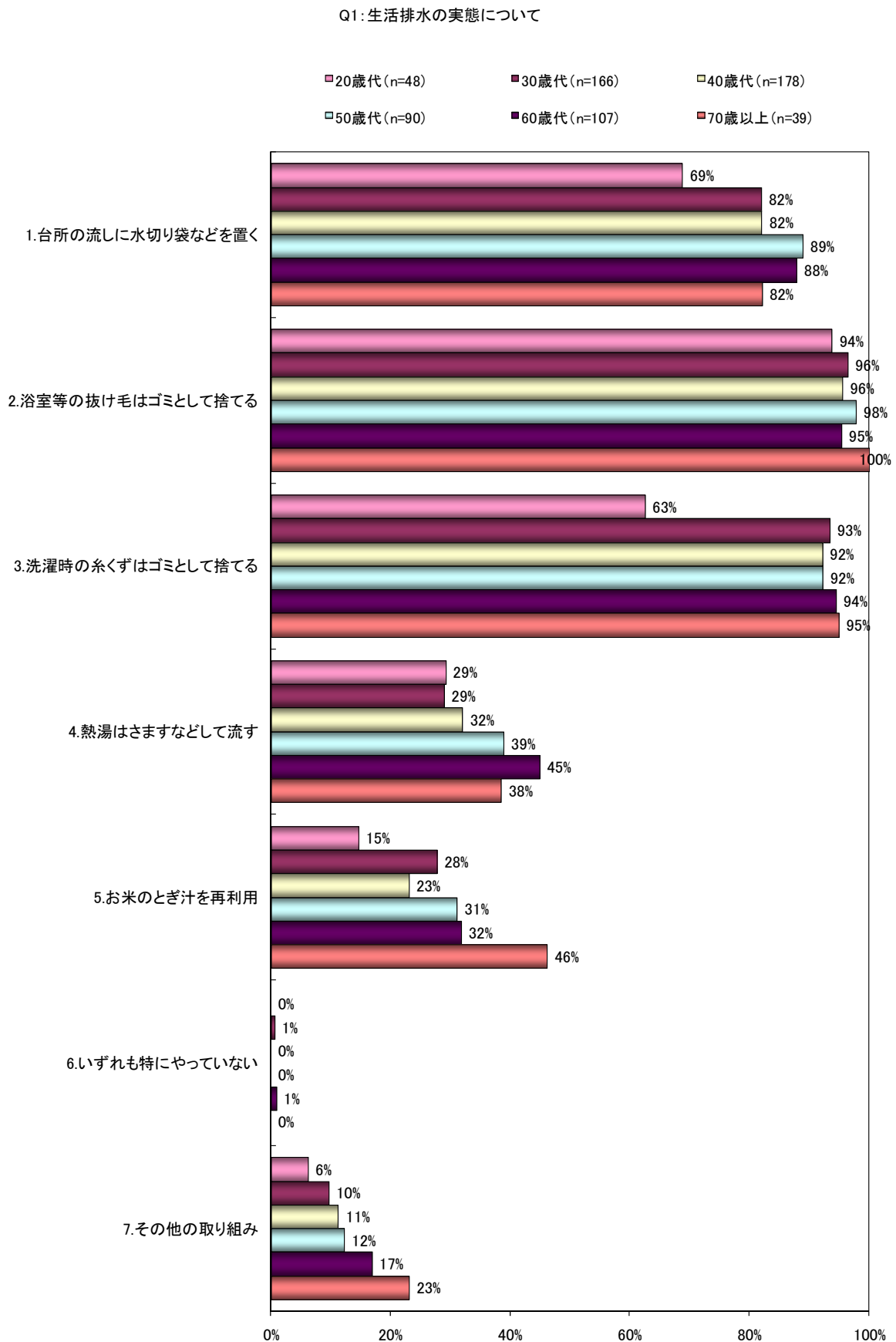


図 1-4 生活排水の実態についての年代別状況



1-2. 家庭の排水が引き起こす影響について

- 家庭からの排水が引き起こす影響についてみる。全体では、「知らなかった」との回答が高くなった順に「4) 宅地内の排水管には、主に硬質塩化ビニル管が使われているため、熱湯を流すと管が変形することがあること」60%、「3) お米のとぎ汁には、海に赤潮を発生させる原因となる「りん」や「ちっ素」が多く含まれていること」59%、「2) 下水道管に付着して固まった油の塊（オイルボール）が大雨が降った時に流れ出して川や海を汚してしまうこと」37%となった。
 - 男女別にみると、女性は全体と同じ傾向を示した。男性では「3) お米のとぎ汁には、海に赤潮を発生させる原因となる「りん」や「ちっ素」が多く含まれていること」59%、「4) 宅地内の排水管には、主に硬質塩化ビニル管が使われているため、熱湯を流すと管が変形することがあること」58%、「2) 下水道管に付着して固まった油の塊（オイルボール）が大雨が降った時に流れ出して川や海を汚してしまうこと」31%となり、全体と比べると1位、2位が逆転した。
 - 地域別にみると、23区は全体と同じ傾向を示した。多摩地区では「3) お米のとぎ汁には、海に赤潮を発生させる原因となる「りん」や「ちっ素」が多く含まれていること」および、「4) 宅地内の排水管には、主に硬質塩化ビニル管が使われているため、熱湯を流すと管が変形することがあること」がともに61%となり、次いで「2) 下水道管に付着して固まった油の塊（オイルボール）が大雨が降った時に流れ出して川や海を汚してしまうこと」40%となった。
 - 年代別にみると、全体と同じ傾向を示したのは、30歳代と70歳以上となった。なお、40歳代、50歳代、60歳代は「3) お米のとぎ汁には、海に赤潮を発生させる原因となる「りん」や「ちっ素」が多く含まれていること」「4) 宅地内の排水管には、主に硬質塩化ビニル管が使われているため、熱湯を流すと管が変形することがあること」、「2) 下水道管に付着して固まった油の塊（オイルボール）が大雨が降った時に流れ出して川や海を汚してしまうこと」の順となり、全体と比べると1位と2位が逆転した。20歳代では、「4) 宅地内の排水管には、主に硬質塩化ビニル管が使われているため、熱湯を流すと管が変形することがあること」69%、「2) 下水道管に付着して固まった油の塊（オイルボール）が大雨が降った時に流れ出して川や海を汚してしまうこと」および「3) お米のとぎ汁には、海に赤潮を発生させる原因となる「りん」や「ちっ素」が多く含まれていること」がともに54%となった。
-

Q2. 家庭の排水が引き起こす影響について伺います。以下のそれぞれの項目について、あなたはご存知でしたか。該当する選択肢を一つだけお選び下さい。（単一回答）。

図 1-5 家庭の排水が引き起こす影響について

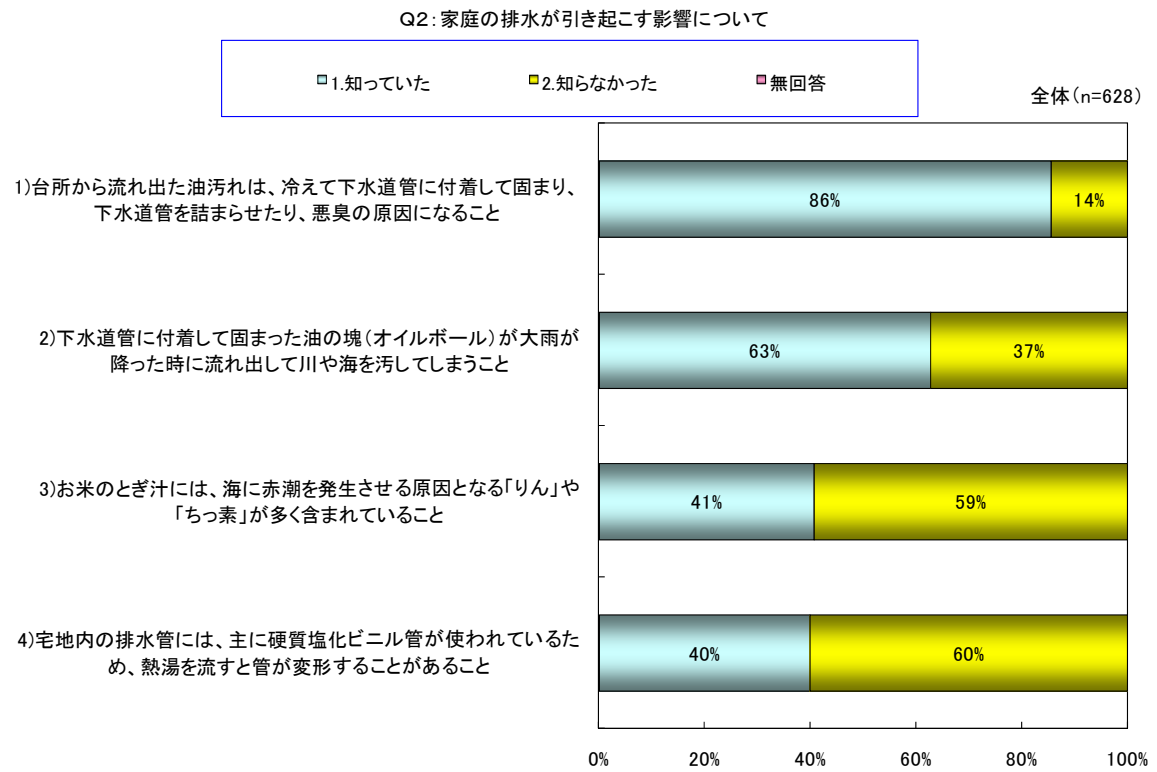


図 1-6 家庭の排水が引き起こす影響について（男女別）

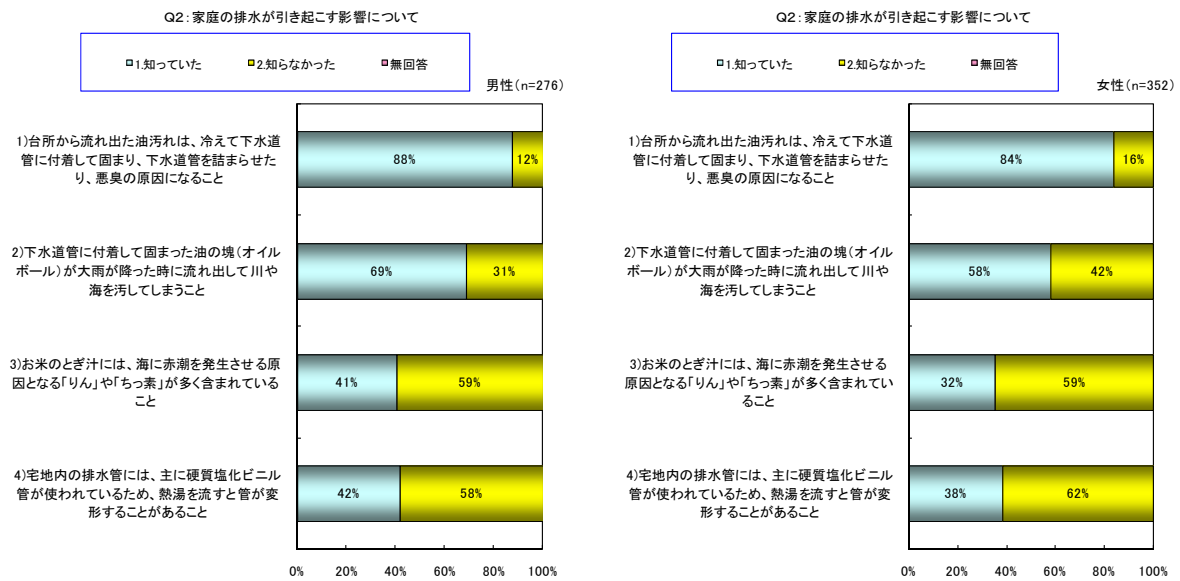


図 1-7 家庭の排水が引き起こす影響について（地域別）

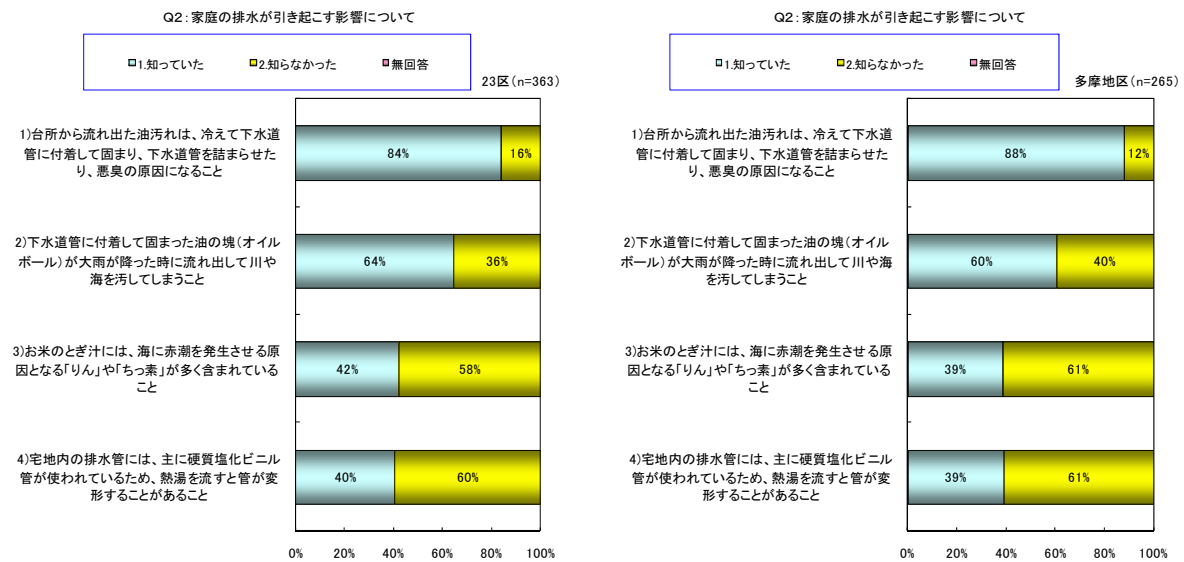
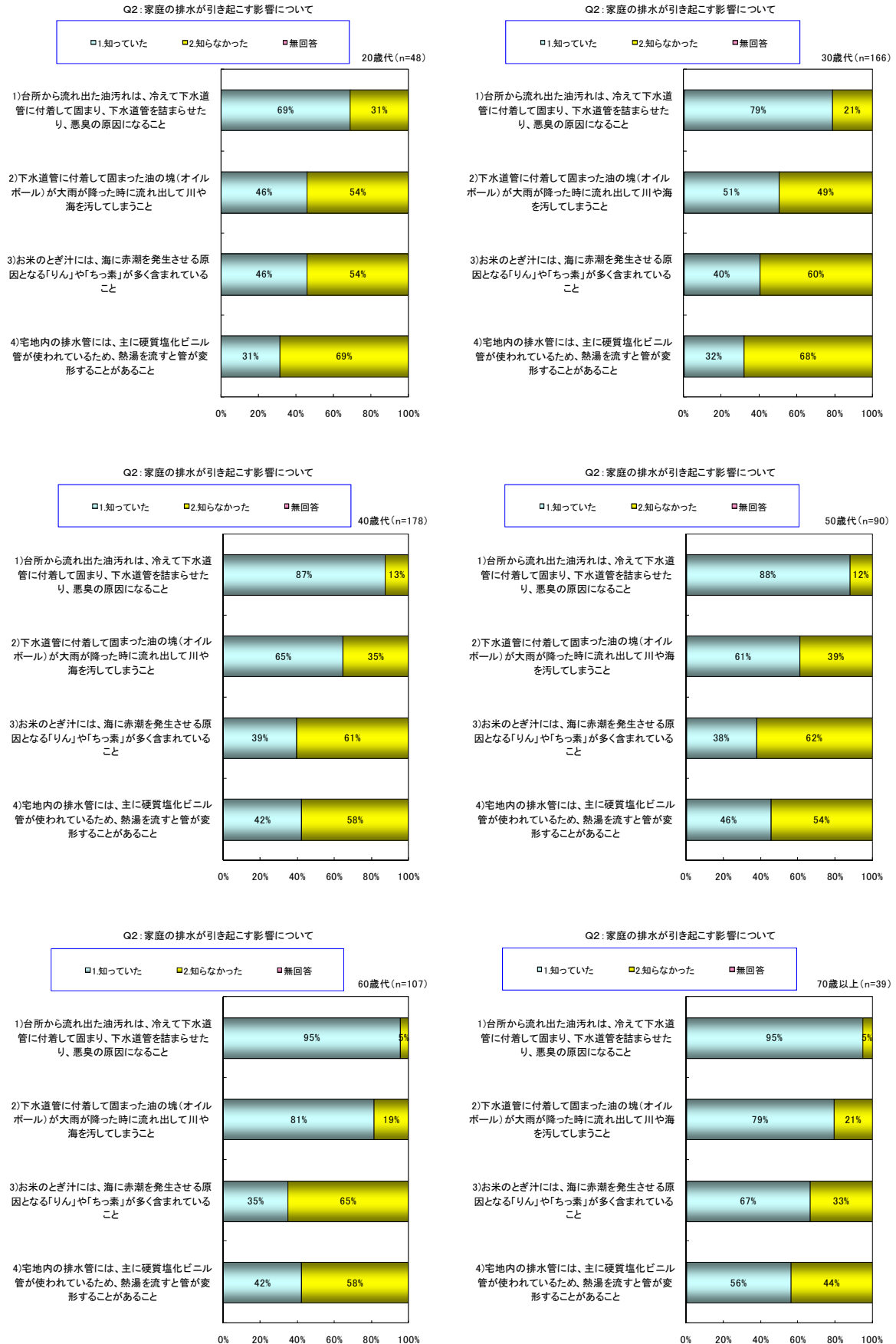


図 1-8 家庭の排水が引き起こす影響について（年代別）

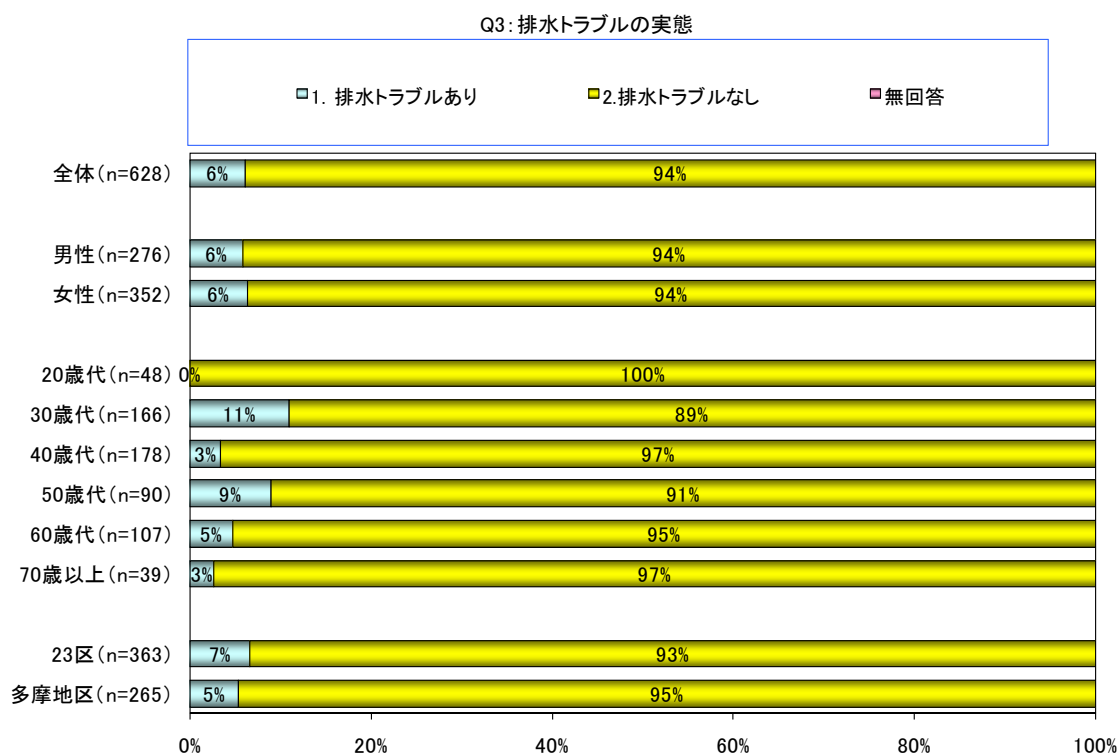


1-3. 排水トラブルの実態について

- 排水トラブル経験の有無についてみる。全体では「1. 排水トラブルあり」は 6%であった。
- 男女別にみると、全体と同じ傾向となった。
- 年代別にみると、「1. 排水トラブルあり」の回答の割合が高くなった順に、「30 歳代」11%、「50 歳代」9%、「60 歳代」5%となり、「40 歳代」、および「70 歳以上」はともに 3%となった。最も回答割合が低い「20 歳代」は 0%であった。
- 地域別にみると、23 区 7%、多摩地区 5%となった。23 地区が 2 ポイント高くなった。

Q3. あなたのご家庭では、最近 1 年以内に排水トラブルはありましたか。以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい。さらに、トラブルがあればその内容をお答えください。（自由回答）。

図 1-9 排水トラブルの実態

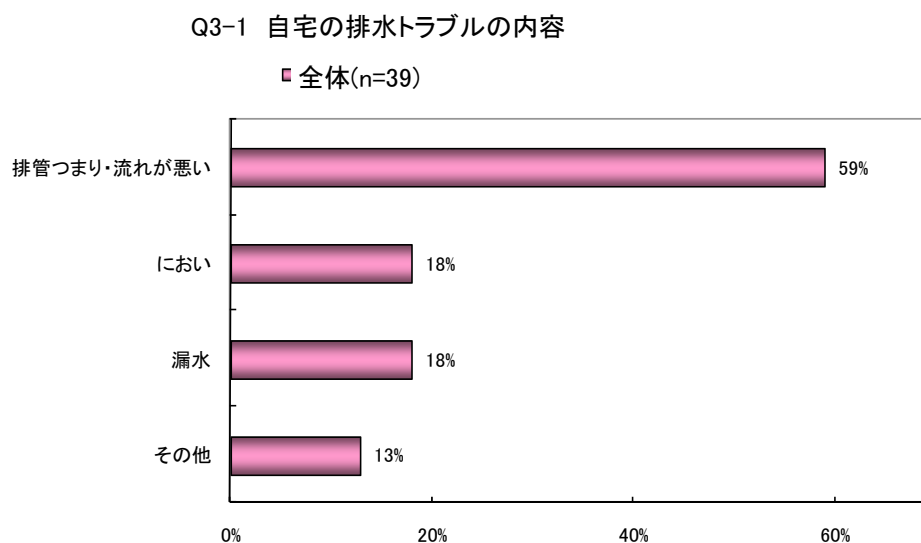


1-4. 排水トラブルの内容について

- 自由回答から排水トラブルの内容をみると、「排水管つまり・流れが悪い」が 59%、次いで「におい」および「漏水」18%であった。また、トラブルの発生の場所をみると、「台所」および「トイレ」がともに 18%、次いで「風呂」13%となった。
- 以下に排水トラブル内容について具体的な意見を紹介する。

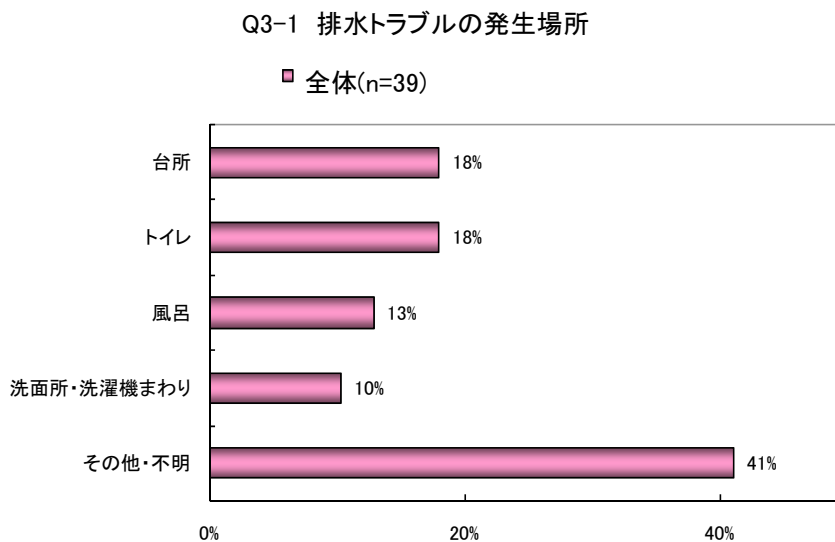
Q3-1. トラブル内容を具体的にご記入ください。（自由回答）。

図 1-1 O 排水トラブルの内容



※ 上記は、表記のキーワードに関連した内容を回答した回答者の割合（率）である。例えば 1 位の「排水管つまり・流れが悪い」は、総回答者数 39 人のうち、回答欄に文章で「排水管つまり・流れが悪い」に関連する内容を記載した 23 人（59%）の割合を示している（以降の自由回答は、すべて同様の方法にて集計している）。

図 1-1 1 排水トラブルの発生場所



1. 「排水管つまり・流れが悪い」事例

- ◆ 浴室の排水管が抜け毛で詰まってしまった。(60 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 洗面所が詰まって全く流れなくなった。排水管を外したら真っ黒いヘドロが詰まっていた。(50 歳代女性、23 区)
- ◆ トイレの排水管が詰まった。(60 歳代男性、23 区)
- ◆ 真冬に台所排水管が詰まった。目の細かいストッキング素材のネットを毎日張っているにもかかわらず、S 字型の排水管ではなく、くねりが一度も無いのでパイプスルーも効果なく。業者いわく、カレーなど油脂の多いものが冷えてこびりついたのではないかと。(30 歳代女性、23 区)

2. 「におい」の事例

- ◆ 悪臭が立ち込め、排水パイプの接続部分に隙間があることが分かった。業者に依頼し修理した。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 排水トラブルというか、年に一度、業者で排水管の掃除をするのですが、掃除の後、洗濯機の排水溝から臭いが何ヶ月も上がってきていて困りました(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 掃除もしているが、雨の日等下水が臭いときがある。(50 歳代男性、23 区)

3. 「漏水」の事例

- ◆ 洗面台下の排水用蛇腹が抜けて水漏れがあった。プラスチック製ネジが損傷しており、ビニールテープで固定処置した。(60 歳代男性、23 区)
- ◆ 経年劣化により漏水発生、排水管一部取り替えました。金属パイプで劣化部分には錆が固まっていました。(60 歳代男性、23 区)
- ◆ 2 階の下水道が詰まり 1 階の屋根から水漏れがあった(30 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 2 階にキッチンがあり、排水管の不良で、階下の部屋に水漏れと排水時の異常音があった。(70 歳以上男性、23 区)

4. 「その他」の事例

- ◆ お風呂の排水溝が逆流した。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ 雨水マスで雨水が処理できず、家の外周が外堀のように水浸しとなった。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ 大雨が降ると 1 階の排水口がボコボコいって、水があがってくる(50 歳代女性、23 区)

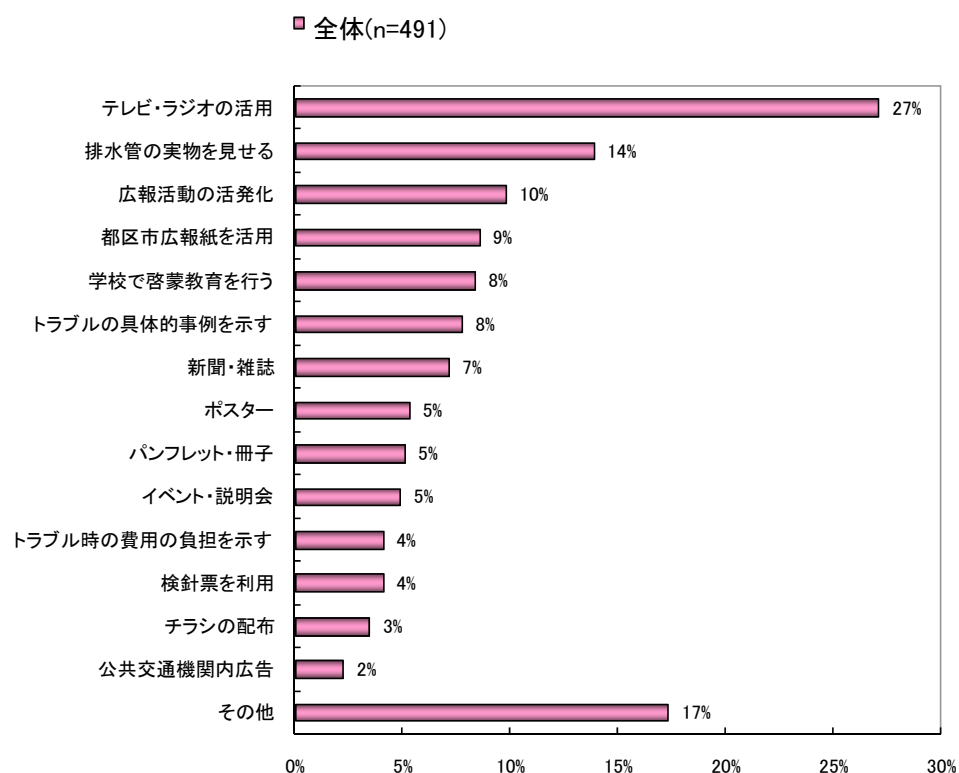
1-5. 家庭排水に関心のない方に関心を持ってもらうための方策

- 家庭の排水に気を配らない方に関心を持ってもらうための打開策を伺ったところ、「テレビ・ラジオの活用」27%、「排水管の実物を見せる」14%となった。次いで、「広報活動の活発化」10%、「都区市広報紙を活用」9%となった。
- 以下に、ご意見を多数お寄せいただいたので、一部ご紹介する。

Q4. あなたは、家庭の排水に気を配らない方に関心を持ってもらうためには、どのような方法が有効だと思いますか。（自由回答）。

図 1-1 2 家庭排水に関心のない方に関心を持ってもらうための打開策

Q4 排水に気を配らない方に関心を持ってもらうには [自由回答]



※ 上記は、表記のキーワードに関連した内容を回答した回答者の割合（率）である。例えば 1 位の「テレビ・ラジオの活用」は、総回答者数 491 人のうち、回答欄に文章で「テレビ・ラジオの活用」に関連する内容を記載した 133 人（27%）の割合を示している（以降の自由回答は、すべて同様の方法にて集計している）。

1. 「テレビ・ラジオの活用」に関連した意見

- ◆ テレビのニュースなどで排水の影響で引き起こされるトラブルについて特集する。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ なるべく多くの人が見聞きできるように、テレビや新聞などで訴えるとよいと思います。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 実際にどういうトラブルが起きるのかわからないからということもあると思うので、テレビやネットなどで啓蒙活動を行う。(20 歳代女性、23 区)
- ◆ テレビなどで実態を広報して注意を喚起する。(70 歳以上男性、多摩地区)

2. 「排水管の実物を見せる」に関連した意見

- ◆ 家庭の排水管を輪切りにしたものを、(いかに汚れているかということを) 展示し、これが河川へ流れ出たらどうなるかということ想像してもらう。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 自宅の排水管の写真を撮影して実際に認識してもらう。ヘドロがひどいこと、悪臭を起こしていること、つまりの原因になると補修料が高額であることをまず知らせるべきです。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ 下水管の中は外から見えないので、内部がどんな状態になっているか実感としてわからない。経年変化で中がどのように変化するか視覚化して示すとよい。排水管を真ん中で切って、断面を見せるなどが考えられる。(50 歳代男性、23 区)
- ◆ 具体的によごれた管の模型等を使って視覚に訴える。実験によって汚れが付着する過程をみてもらう、など。(50 歳代女性、多摩地区)

3. 「広報活動の活発化」に関連した意見

- ◆ もっと家庭排水について各家庭に対し、注意を促したほうが良いと思います。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ 広報活動を活発化する。(60 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 知らない人も多いと思うので排水が引き起こす悪い影響をもっと PR する。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ やっぱり地道な広報活動しかないのでは？(50 歳代女性、23 区)

4. 「都区市広報紙を活用」に関連した意見

- ◆ やはり、何でもかんでも、排水する事は、良くないことを、PR 紙、東京都ニュース等に載せる事。その結果どうなるか(排水に関心のない人)を知ってもらうこと。(60 歳代男性、23 区)
- ◆ 水道ニュースや都民便りなどで情報を伝える。(20 歳代男性、23 区)
- ◆ 広報や新聞折り込みなどを通して家庭排水が引き起こす事象の写真を公開して、関心を持ってもらうのが良いのではないのでしょうか。(50 歳代女性、23 区)
- ◆ 排水トラブルで実際に起こった事例を広報などで紹介して、危険や環境に悪影響を及ぼすことを知らせたほうがよいと思います。(20 歳代男性、多摩地区)

5. 「学校で啓蒙教育を行う」に関連した意見

- ◆ 学校での教育によりこどもの意識を高め、大人へこどもから働きかけるようにする。(40 歳代女性、多摩地区)

- ◆ 小中学生に対する教育が効果的だと思います。教育カリキュラムに取り入れるべきだと思います。（60 歳代男性、23 区）
- ◆ 難しいですが、子どもから言われるとやらざるを得ないところもあると思うので、学校・幼稚園でのわかりやすい授業なんかよいと思います。（30 歳代女性、多摩地区）
- ◆ 社会勉強の一環として授業に取り入れるなどして、子供を通じて保護者に知らしめる。いずれにしても、関心の無い人に振り向いてもらうのは大変です。（60 歳代男性、23 区）

6. 「トラブルの具体的事例を示す」に関連した意見

- ◆ テレビの特番などで、実際のトラブル状況を見せて広く人々に知らせる。（40 歳代男性、多摩地区）
- ◆ 実際に排水のトラブルがあったことなどを写真やビデオを通して見せるのがよいと思う。（50 歳代女性、23 区）
- ◆ トラブルの実例を挙げたり、オイルボールを見せたりして、どれほど大変なことか身をもって知らせる機会を作る。（40 歳代女性、多摩地区）
- ◆ 排水トラブルの具体例をあげて多方面から周知させる対策を講じること。（50 歳代女性、多摩地区）

7. 「新聞・雑誌」に関連した意見

- ◆ 主婦向け料理雑誌などに広告を載せるなどが有効だと思います。（30 歳代女性、23 区）
- ◆ 新聞の半面で周知広告を打つ。（60 歳代男性、多摩地区）
- ◆ テレビや新聞や雑誌やチラシで警告する。（30 歳代女性、多摩地区）
- ◆ カラーのパンフレット配布（町会の回覧板も含む）や、新聞に掲載して、周知するのが良いと思います。（50 歳代女性、23 区）

8. 「ポスター」に関連した意見

- ◆ オイルボールや赤潮の写真をつかったポスターや広報紙を作る。（60 歳代女性、多摩地区）
- ◆ 市役所や駅などよく行く場所に分かりやすいポスターを貼る。メッセージ的な物ではなく内容をきちんとのせる。（30 歳代女性、多摩地区）
- ◆ 排水に気を配らない事で生じる問題をポスターなどで喚起する。（50 歳代女性、23 区）
- ◆ 公共施設の目につく所にポスターを張って訴える。（20 歳代女性、多摩地区）

9. 「パンフレット・冊子」に関連した意見

- ◆ 新居や賃貸に入居する際にパンフレットを配布する。（20 歳代女性、23 区）
- ◆ 図を多用しわかり易いパンフレットの配布。（60 歳代男性、23 区）
- ◆ ダイエットレシピ等、主婦の方に興味を持ってもらえる役に立つパンフレットの作成。（20 歳代男性、23 区）
- ◆ 私も家庭の排水が引き起こす影響について知らなかったのでパンフレットなどで知ってもらえるのいいと思う。（40 歳代女性、多摩地区）

10. 「イベント・説明会」に関連した意見

- ◆ 区民まつり時のPR活動（40歳代男性、23区）
- ◆ 経済産業省の「節電アクション」みたいに、景品を付けた企画をすることで関心を持ってもらえるのではないかと。（40歳代女性、多摩地区）
- ◆ 主婦に一番知らせたいと思います。そして、お子さんがいるママに。子供たちが集まるようなイベントに参加して、ママ向けに簡単に伝えたいと思います。（30歳代女性、23区）
- ◆ イベント等で景品とともに説明か、スタンプラリー等で問題にする。（30歳代男性、多摩地区）

11. 「トラブル時の費用負担を示す」に関連した意見

- ◆ 事故の事例、そして修理にいくらかかるかの情報を流す。（40歳代男性、23区）
- ◆ 気を配るのと配らない場合の排水管などの破損具合とその修理費用などを一般的な家庭（戸建て、集合住宅）をモデルに事例を作成し、こんなに修理費用がかさむことになるので、ここを気をつければこんなに無駄な出費がなくなりますよと通知する冊子を配布。（40歳代男性、多摩地区）
- ◆ 町内会やマンション管理組合を通じて、被害の実例とそれによる損害を具体的に示す。マンションなどでは、実損が出れば、周知されるのではないかと。（60歳代男性、23区）
- ◆ 排水に気を配らないと具体的にどう自分に影響があるか（自宅排水のトラブル内容やその修理にかかった金額等）をテレビや新聞で伝えたいと思います。（40歳代女性、多摩地区）

12. 「検針票を利用」に関連した意見

- ◆ 水道料金の支払い請求や領収連絡に説明の標語等を書き啓蒙に努める（60歳代男性、23区）
- ◆ 使用料金案内に排水の影響をプリントして、皆の目に何度もとまるようにする。（40歳代女性、多摩地区）
- ◆ 水道の領収書に油を捨てる時は、下水に流さないこと。しつこく書いておく。（60歳代女性、多摩地区）
- ◆ 水道の料金通知書の裏に具体的な写真などをのせて啓蒙する。（40歳代男性、23区）

13. 「チラシを配布」に関連した意見

- ◆ 水道検針時に注意のチラシを配る。（60歳代男性、23区）
- ◆ 排水方法のチラシを入れる（50歳代女性、23区）
- ◆ 排水が環境に与える悪影響について、マンが絵で描いたチラシを配る。（70歳以上男性、23区）
- ◆ PRチラシの折り込み広報活動。（60歳代男性、多摩地区）

14. 「公共交通機関内広告」に関連した意見

- ◆ 電車の車内広告や、デジタルサイネージを利用した周知が必要だと思う。（20歳代男性、多摩地区）
- ◆ 電車やバスに広告を出す。（30歳代女性、多摩地区）

- ◆ 電車の中の映像を使って伝える。(60 歳代女性、23 区)
- ◆ ポスターを作成して、公共施設や電車、バスなどで掲示する。(30 歳代男性、多摩地区)

15. 「その他」の意見

- ◆ 家庭の排水が引き起こす影響について、クイズ形式でおもしろくネット配信。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ 浄化するために税金をいくら投入しているかを前面に出す(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 利用実態に応じて、課金制度を採るなど、負担金が変わると考え方も変わるのでは？(30 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 幅広い告知が必要だと思う。ツイッターやフェイスブックを利用する。他のリサイクル(資源ごみ)PR と一緒に行う。(40 歳代女性、23 区)

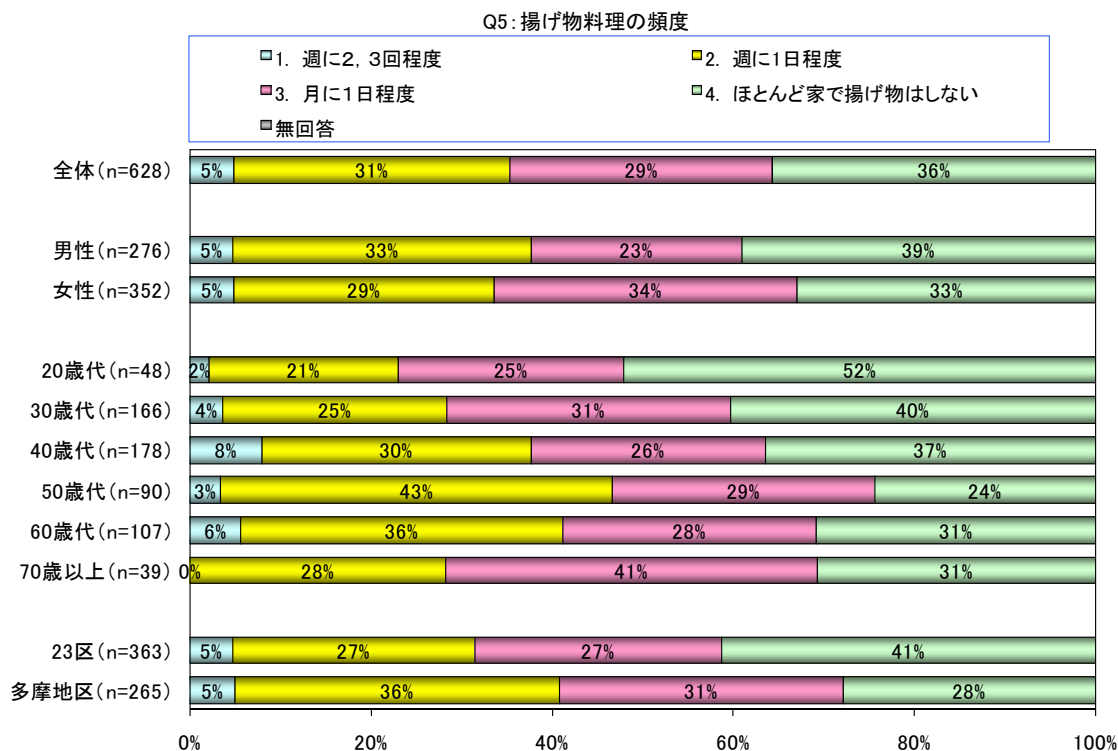
2. ご家庭での油の処理について

2-1. 揚げ物料理の頻度

- 家庭での揚げ物料理の頻度についてみる。ここでは、「1. 週に2, 3回程度」と「2. 週に1日程度」を足した「週1回以上」揚げ物料理を作る人についてみる。
- 全体では、「週1回以上」と回答したのは36%となった。
- 男女別にみると、「週1回以上」と回答した人は、男性は38%、女性が34%となった。男性の「週1回以上」と回答した割合が女性よりも4ポイント高くなった。
- 年代別にみると、20歳代から50歳代までは年代が上がるにつれて「週1回以上」との回答が高くなる。50歳代をピークとして、60歳代、70歳以上と回答割合が低くなる。
- 地域別に「週1回以上」との回答についてみると、23区で32%、多摩地区で41%となり、多摩地区が9ポイント高くなった。

Q5. あなたのお宅では、揚げ物料理をどのくらいの頻度で作りますか。以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい。（単一回答）。

図 2-1 揚げ物料理の頻度

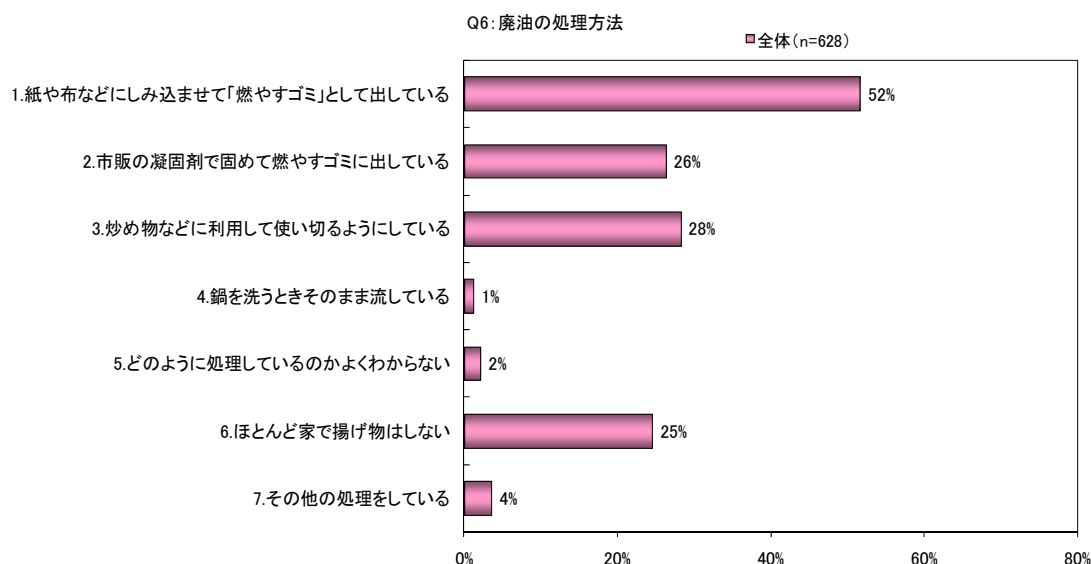


2-2. 廃油の処理方法

- 家庭における廃油の処理方法についてみる。全体では「1. 紙や布などにしみ込ませて「燃やすゴミ」として出している」52%、「3. 炒め物などに利用して使い切るようにしている」28%、「2. 市販の凝固剤で固めて燃やすゴミに出している」26%となった。
- 男女別にみると、女性は全体と同じ傾向を示した。男性は、「1. 紙や布などにしみ込ませて「燃やすゴミ」として出している」50%、「2. 市販の凝固剤で固めて燃やすゴミに出している」29%、「3. 炒め物などに利用して使い切るようにしている」23%となり、全体と比べて2位と3位が逆転した。
- 地域別にみると、多摩地区では全体と同じ傾向を示した。23区では、「1. 紙や布などにしみ込ませて「燃やすゴミ」として出している」50%、「2. 市販の凝固剤で固めて燃やすゴミに出している」27%、「3. 炒め物などに利用して使い切るようにしている」26%となり、全体と比べて2位と3位が逆転した。
- 年代別にみる。全体と同じ傾向を示したのは、40歳代～60歳代であった。他の年代では1～3位までが全体とは異なる傾向を示した。以降に結果を示す。まず20歳代では「6. ほとんど家で揚げ物はしない」42%、「1. 紙や布などにしみ込ませて「燃やすゴミ」として出している」33%、「2. 市販の凝固剤で固めて燃やすゴミに出している」23%。次に30歳代では、「1. 紙や布などにしみ込ませて「燃やすゴミ」として出している」54%、「6. ほとんど家で揚げ物はしない」および「3. 炒め物などに利用して使い切るようにしている」がともに28%。最後に70歳以上では、「1. 紙や布などにしみ込ませて「燃やすゴミ」として出している」64%、「2. 市販の凝固剤で固めて燃やすゴミに出している」36%、「3. 炒め物などに利用して使い切るようにしている」31%となった。

Q6. あなたのお宅では、揚げ物料理をした後の油（天ぷら油など）を、どのような方法で処理することが多いですか。以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。（複数回答）。

図 2-2 廃油の処理方法



「7. その他の処理をしている」の記載内容のうち、主な意見を以下に紹介する。

- ◆ 区で廃油の回収をしているので持っていく。
- ◆ 油が石鹼になる液体を入れて鍋を洗ったりしてます。
- ◆ 要らないランプや名詞などをスキッパーにしてこそげとる
- ◆ リサイクルセンターへ持っていく
- ◆ 市販の「カートリッジ」で油をろ過させて、次回の揚げ物の際新しい油を注ぎ足しながら再度利用。炒め物の時は、そのろ過した油を使う。
- ◆ 古くなった油を牛乳パックに入れてゴミ回収のときに手渡す。
- ◆ 市町村の石鹼材料に出す
- ◆ 廃油は瓶にとっておく

図 2-3 廃油の処理方法（男女別）

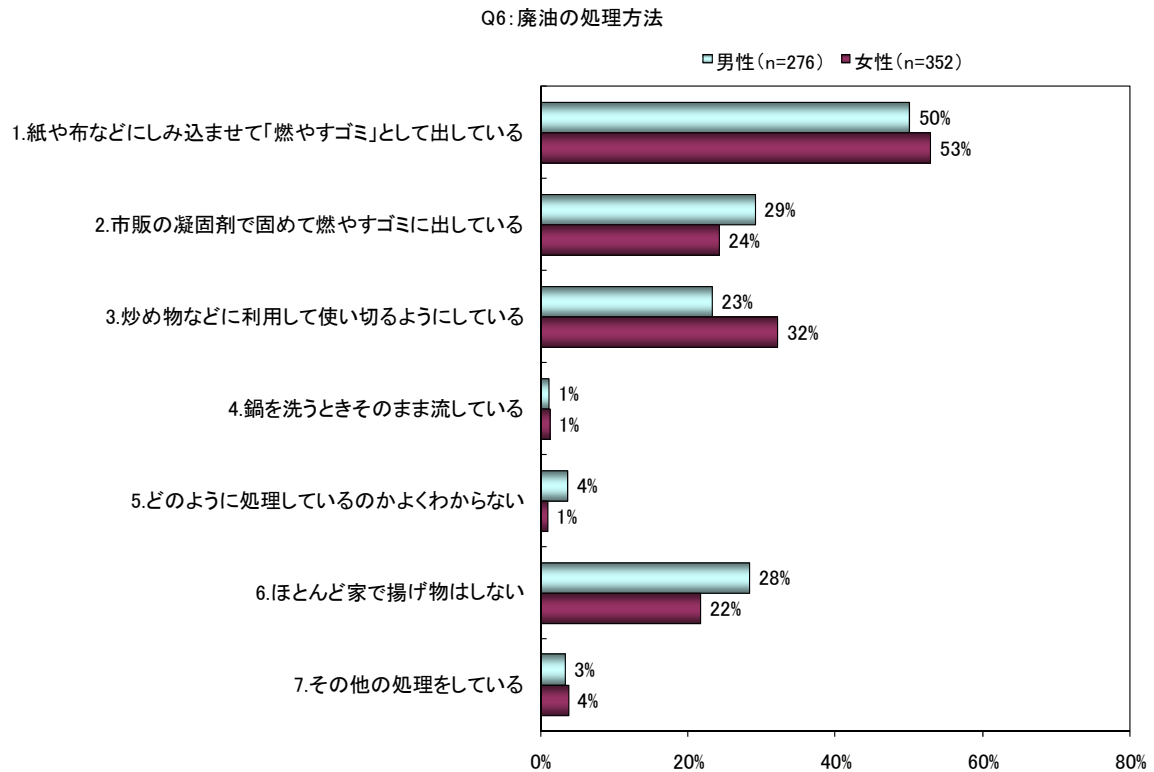


図 2-4 廃油の処理方法（地域別）

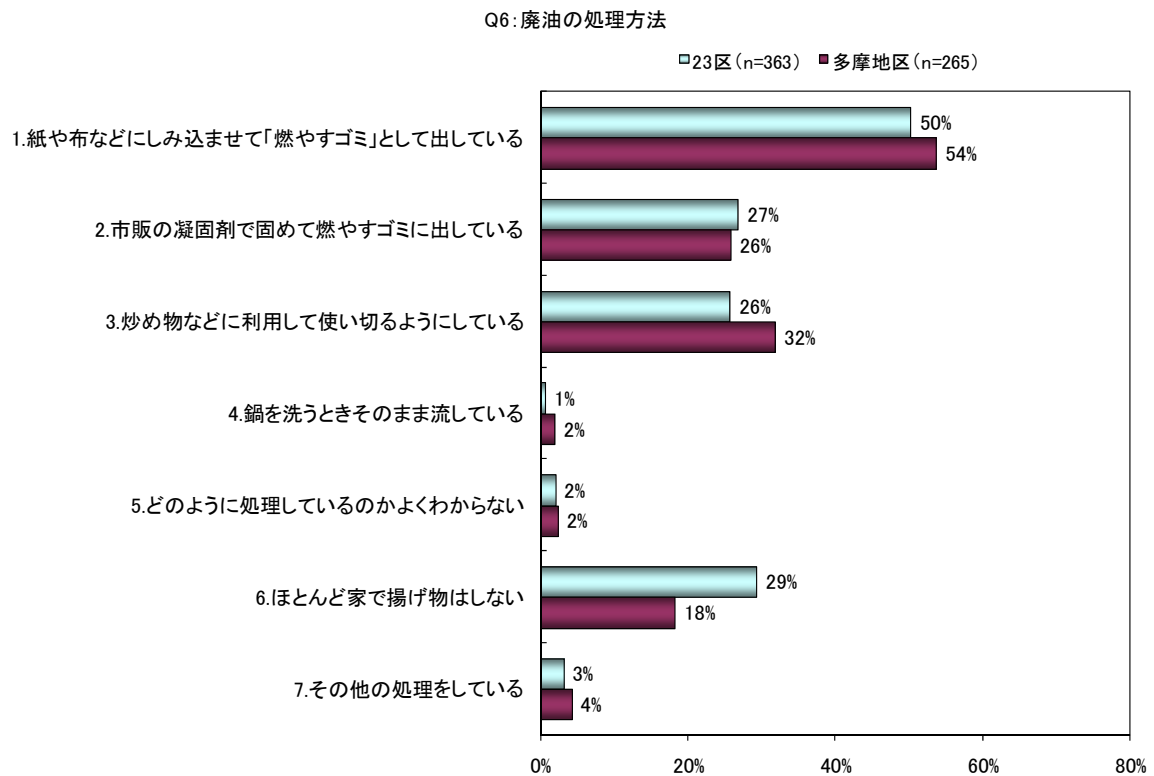
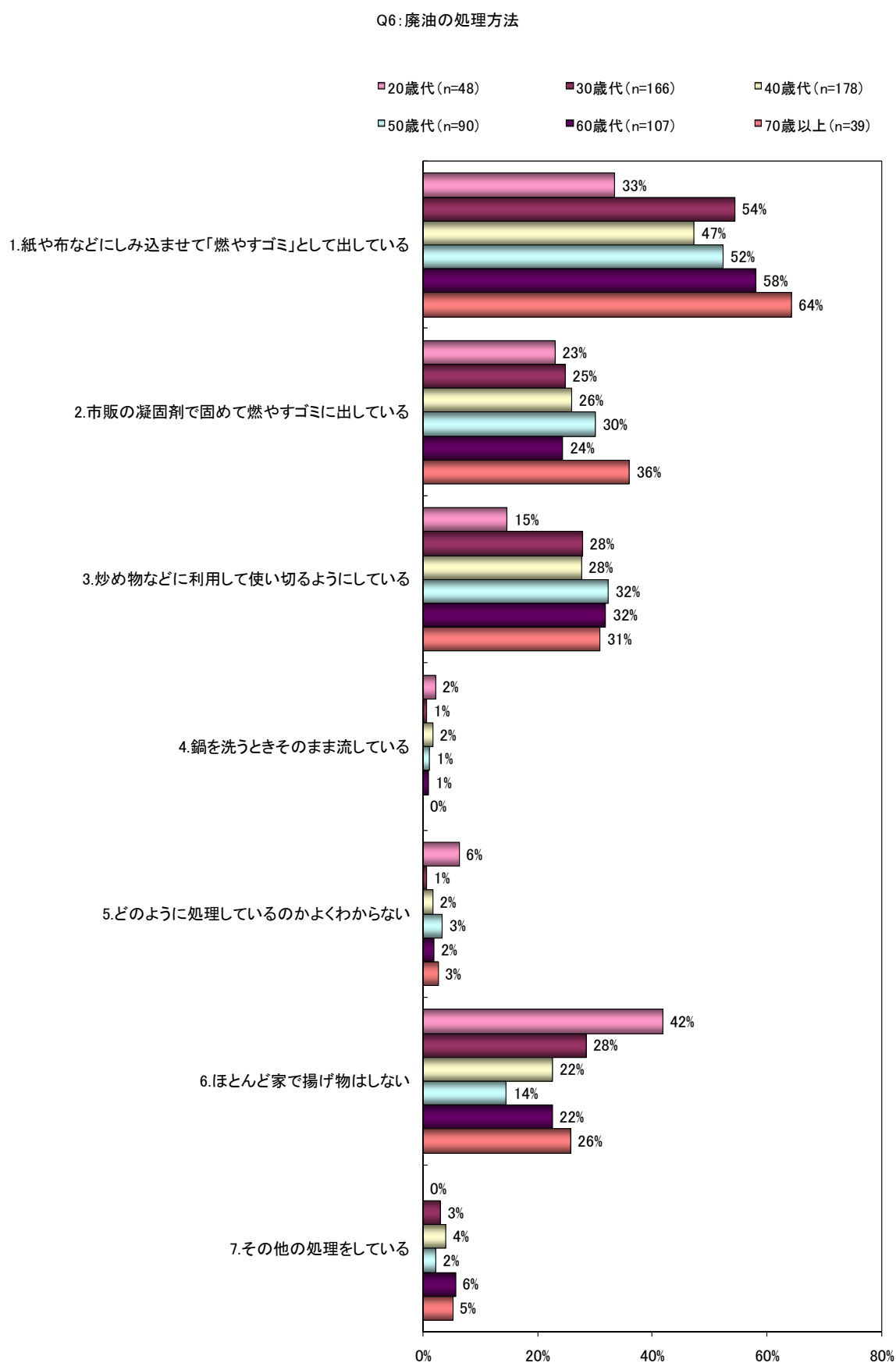


図 2-5 廃油の処理方法(年代別)

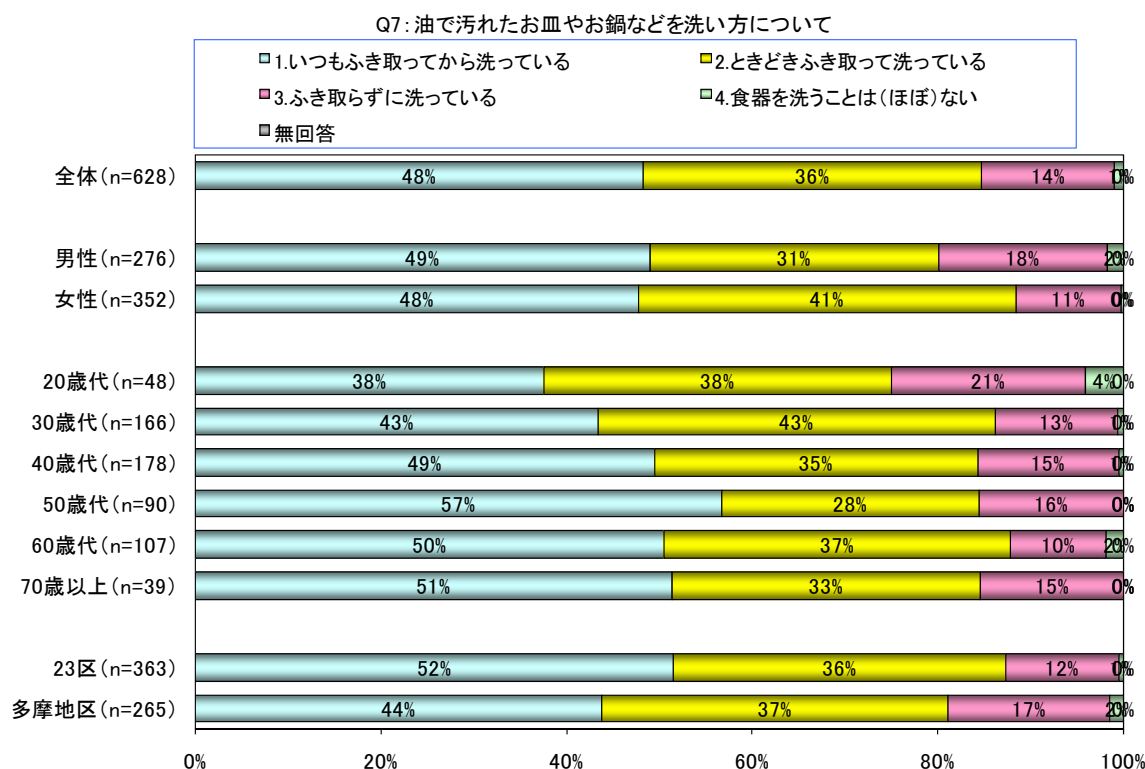


2-3. 油で汚れたお皿やお鍋などの洗い方について

- 家庭での油で汚れたお皿やお鍋などの洗い方をみる。全体では「1. いつもふき取ってから洗っている」48%、「2. ときどきふき取って洗っている」36%、「3. ふき取らずに洗っている」14%となった。
- 男女別・地域別にみると、ともに全体と同じ傾向を示した。
- 年代別にみると、40歳代～70歳以上において全体と同じ傾向を示した。なお20歳代、30歳代では「1. いつもふき取ってから洗っている」および、「2. ときどきふき取って洗っている」が同率となり、3位に「3. ふき取らずに洗っている」となった。

Q7. あなたのお宅では、油で汚れたお皿やお鍋などを洗うとき、キッチンペーパーやスクレーパー（汚れ落とし用ヘラ）などで、ふき取ってから洗っていますか。以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい。（単一回答）。

図2-6 油で汚れたお皿やお鍋などの洗い方について



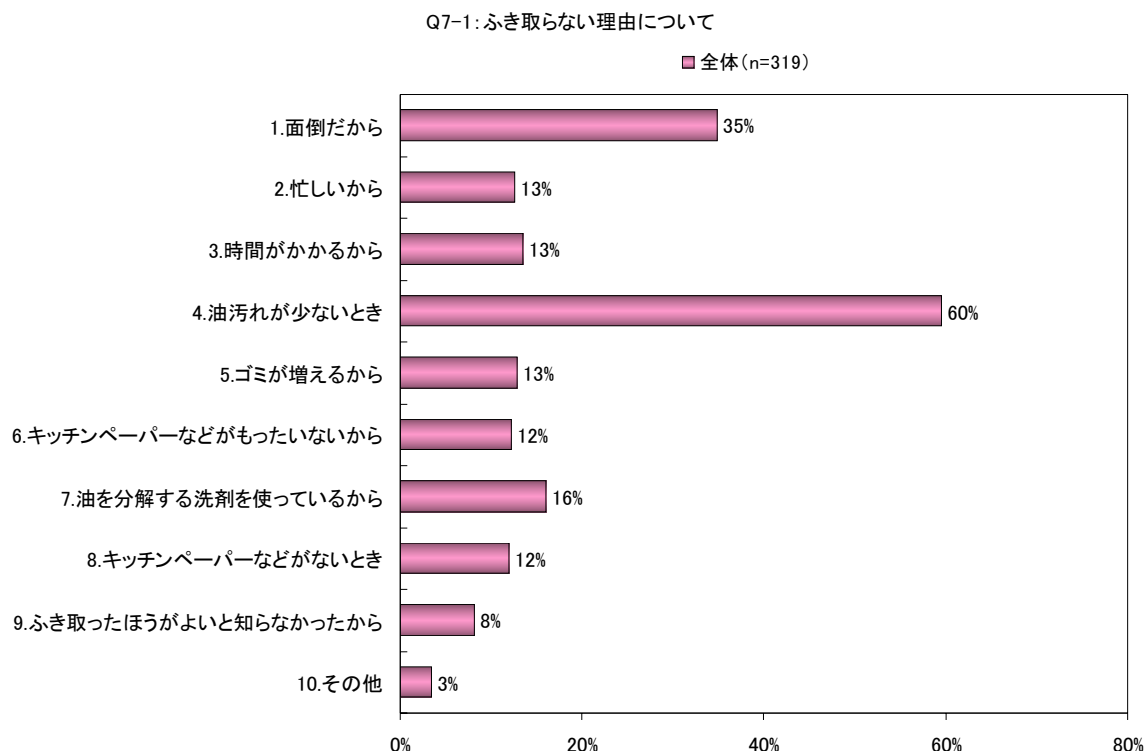
2-4. ふき取らない理由について

- 油汚れをふき取らないで洗う主な理由をみる。全体では「4. 油汚れが少ないとき」60%、「1. 面倒だから」35%、「7. 油を分解する洗剤を使っているから」16%となった。
- 男女別・地域別にみると全体と同じ傾向を示した。
- 年代別にみると、全体と同じ傾向を示したのは、60歳代のみであった。他はそれぞれ全体と異なる傾向を示しており、以降に傾向を示す。20歳代では「1. 面倒だから」43%、「4. 油汚れが少ないとき」39%、「5. ゴミが増えるから」18%となった。30歳代では「4. 油汚れが少ないとき」56%、「1. 面倒だから」40%、「2. 忙しいから」および「6. キッチンペーパーなどがもったいないから」がともに15%となった。40歳代では「4. 油汚れが少ないとき」63%、「1. 面倒だから」33%、「6. キッチンペーパーなどがもったいないから」19%となった。50歳代では「4. 油汚れが少ないとき」62%、「1. 面倒だから」36%、「2. 忙しいから」15%となった。最後に70歳以上では「4. 油汚れが少ないとき」68%、「7. 油を分解する洗剤を使っているから」47%、「1. 面倒だから」26%となった。

Q7-1. Q7 で【油汚れを「ときどきふき取って洗っている」「ふき取らずに洗っている」とお答えの方へ伺います】

ふき取らないで洗う主な理由は何でしょうか。以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。（複数回答）。

図2-7 ふき取らない理由について



「１０．その他」の記載内容のうち、主な意見を以下に紹介する。

- ◆ 全ての食器をふき取るのは面倒なので、特に油汚れがひどい食器、鍋などに限ってふき取っています
- ◆ 生野菜でソース汚れとか一緒に拭き取って食べたりする
- ◆ 古着などで廃材がでたときには拭くのでときどきになってしまいます
- ◆ 各自食後にお皿を洗い桶に入れるため、家族まで浸透できていない
- ◆ さほど汚れません。ちゃんと食べるので
- ◆ 廃油の石けんで大方の油を白濁化したものを容器に入れ庭に撒き、濯ぎの水も入れ物に溜めて水遣りに使う

図2-8 ふき取らない理由について（男女別）

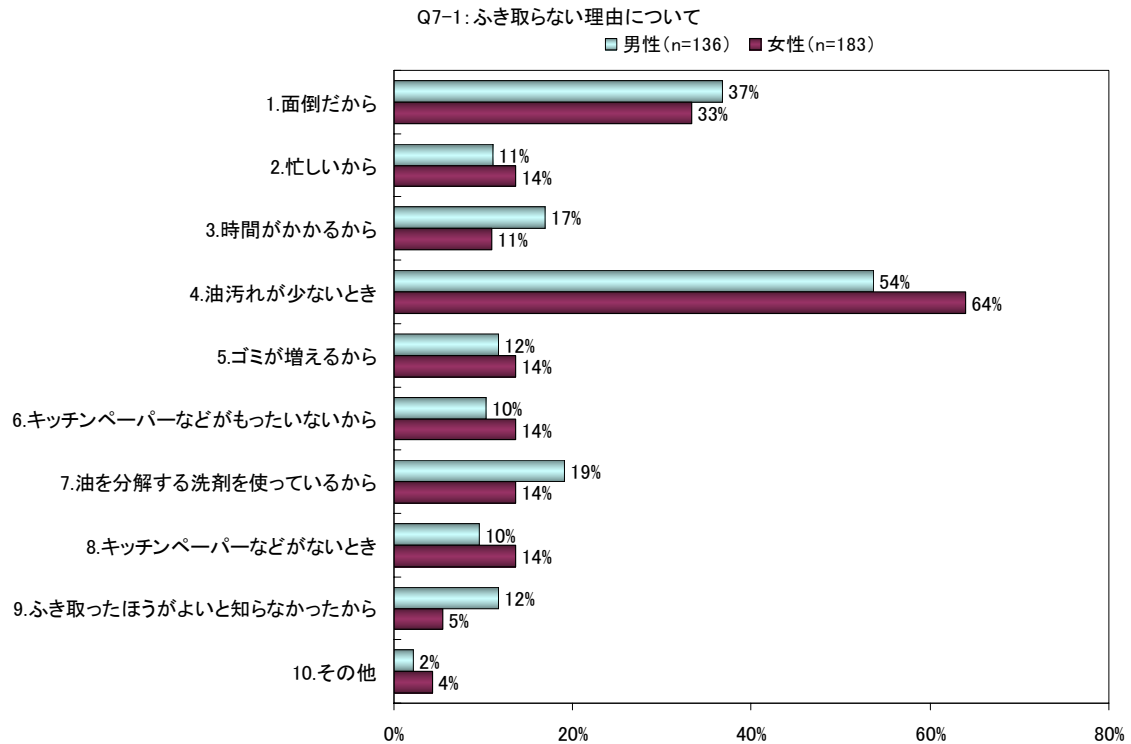


図2-9 ふき取らない理由について(地域別)

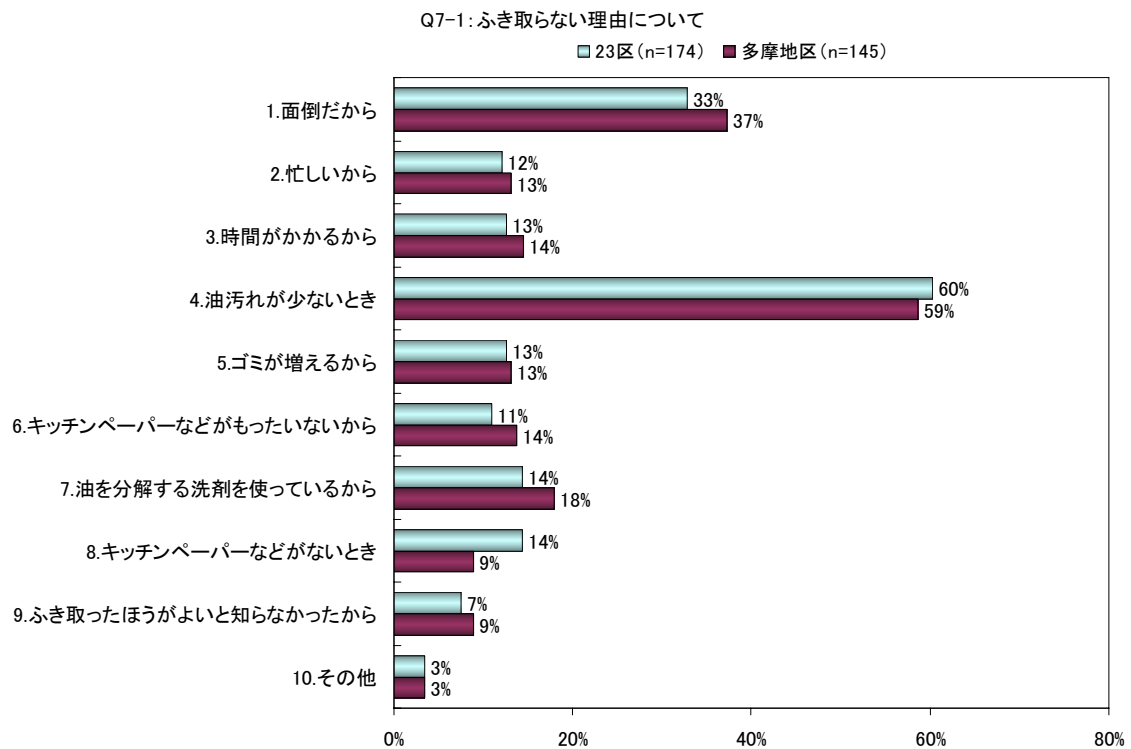
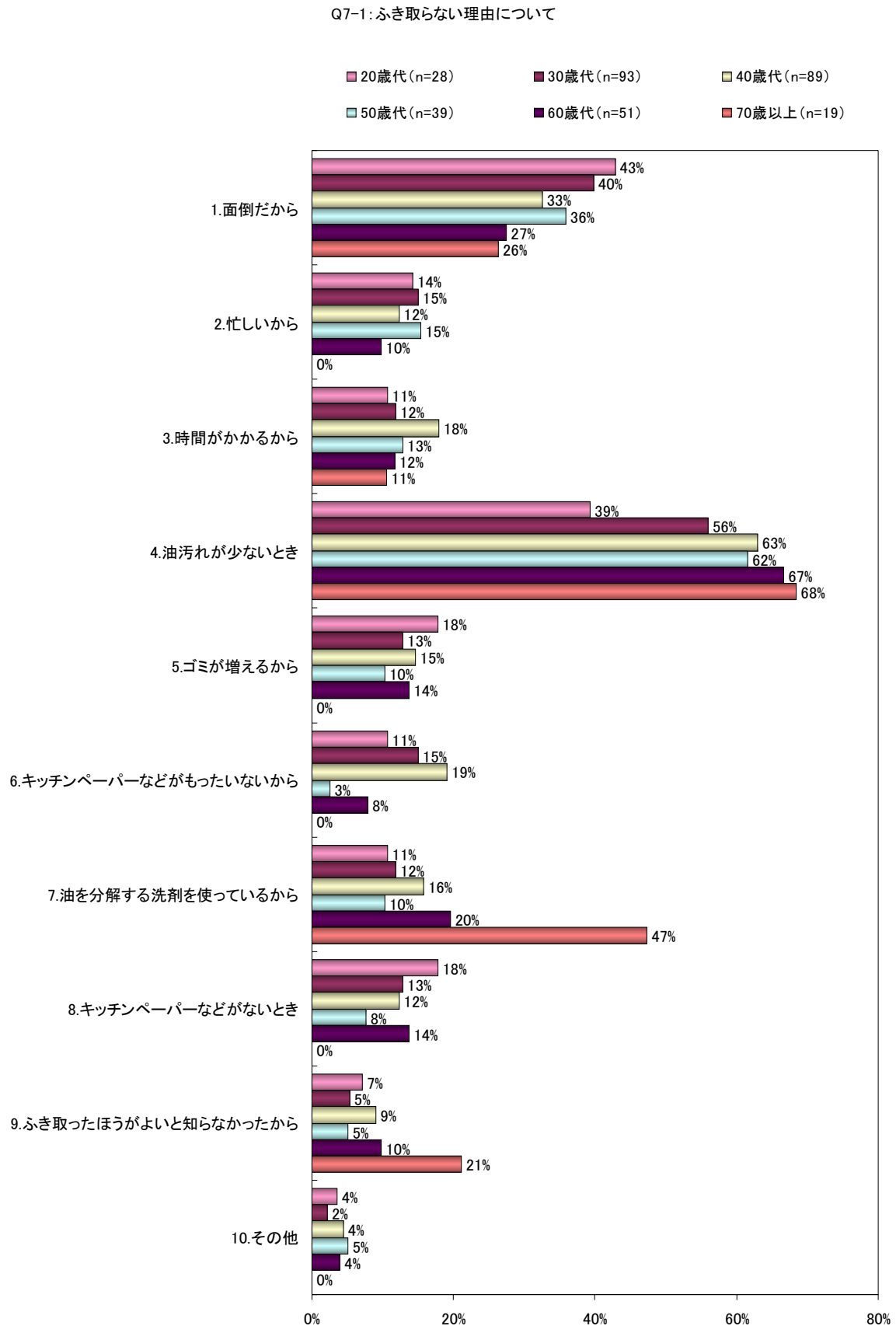


図2-10 ふき取らない理由について（年代別）



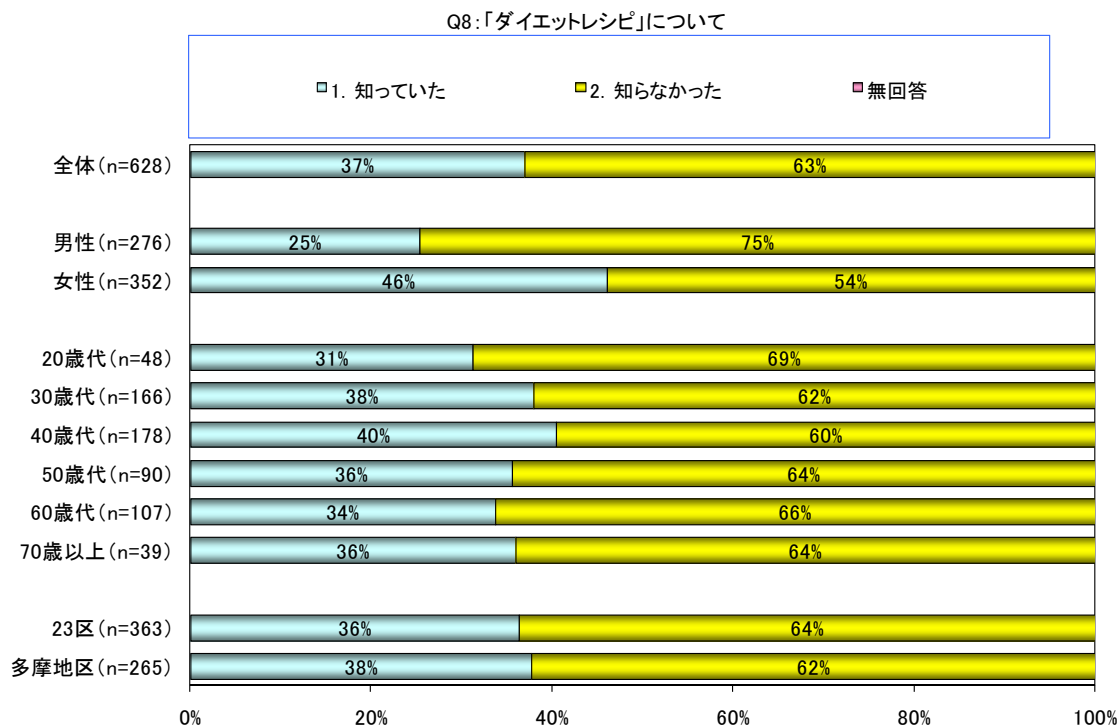
3. ダイエットレシピについて

3-1. 「ダイエットレシピ」について

- ダイエットレシピの認知状況を尋ねた。全体では回答が高くなった順に「知らなかった」63%、「知っていた」37%となった。
- 男女別にみると、男性では「知っていた」25%に対して、女性では46%となり、女性の方が21ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「知っていた」との回答の割合が他の年代よりも高くなったのは40歳代で40%となった。一方「知っていた」との回答割合が最も低くなったのは20歳代の31%であった。両者の差は9ポイントとなった。
- 地域別にみると、「知っていた」との回答の割合が高くなったのは、多摩地区38%であり、23区の36%よりも2ポイント高くなった。

Q8. あなたは、東京都下水道局が作成している『ダイエットレシピ』（少ない油でからだにも下水道にもやさしい料理の作り方を紹介したレシピ）をご存じですか。以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい。（単一回答）。

図3-1 「ダイエットレシピ」について



3-2. 作ったことのある「ダイエットレシピ」について

- ダイエットレシピを「知っている」人に対して、作ったことのある料理をみる。ただし、「26. 作ったことのある料理はない」は除く。全体では「3. 揚げない茄子の揚げ煮浸し」14%、「12. 炒飯」13%、「6. スパゲッティーマトソース」12%となった。
- 男女別にみると、男性では、「12. 炒飯」21%、「6. スパゲッティーマトソース」16%、「23. 麻婆豆腐」10%となった。一方女性は「3. 揚げない茄子の揚げ煮浸し」17%、「6. スパゲッティーマトソース」および、「21. 揚げない鶏のから揚げ」がともに 10%となった。
- 地域別にみると、23 区は全体と同じ傾向を示した。多摩地区では「3. 揚げない茄子の揚げ煮浸し」と「12. 炒飯」がともに 13%となり、次いで「6. スパゲッティーマトソース」12%となった。
- 年代別にみると、各年代によって傾向が異なった。20 歳代では「5. ピロシキ」20%、「3. 揚げない茄子の揚げ煮浸し」、「4. 焼きドーナッツ」、「7. ラタトゥイユ」、「13. エビのチリソース」がともに 13%となった。30 歳代では「3. 揚げない茄子の揚げ煮浸し」14%、「19. 油あげのコロッケ」11%、「12. 炒飯」、「21. 揚げない鶏のから揚げ」がともに 10%となった。40 歳代では「6. スパゲッティーマトソース」11%、「3. 揚げない茄子の揚げ煮浸し」、「12. 炒飯」、「23. 麻婆豆腐」がともに 10%となった。50 歳代では「3. 揚げない茄子の揚げ煮浸し」16%、「7. ラタトゥイユ」および、「21. 揚げない鶏のから揚げ」がともに 13%となった。60 歳代では、「6. スパゲッティーマトソース」31%、「12. 炒飯」22%、「3. 揚げない茄子の揚げ煮浸し」19%となった。最後に 70 歳以上では「12. 炒飯」43%、「23. 麻婆豆腐」36%、「6. スパゲッティーマトソース」29%となった。

Q8-1. Q8. で【ダイエットレシピを「知っている」とお答えの方へ伺います】

次にあげる『ダイエットレシピ』の料理の中で、あなたが作ったことのある料理をお知らせください。以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。（複数回答）。

図3-2 作ったことのある「ダイエットレシピ」について

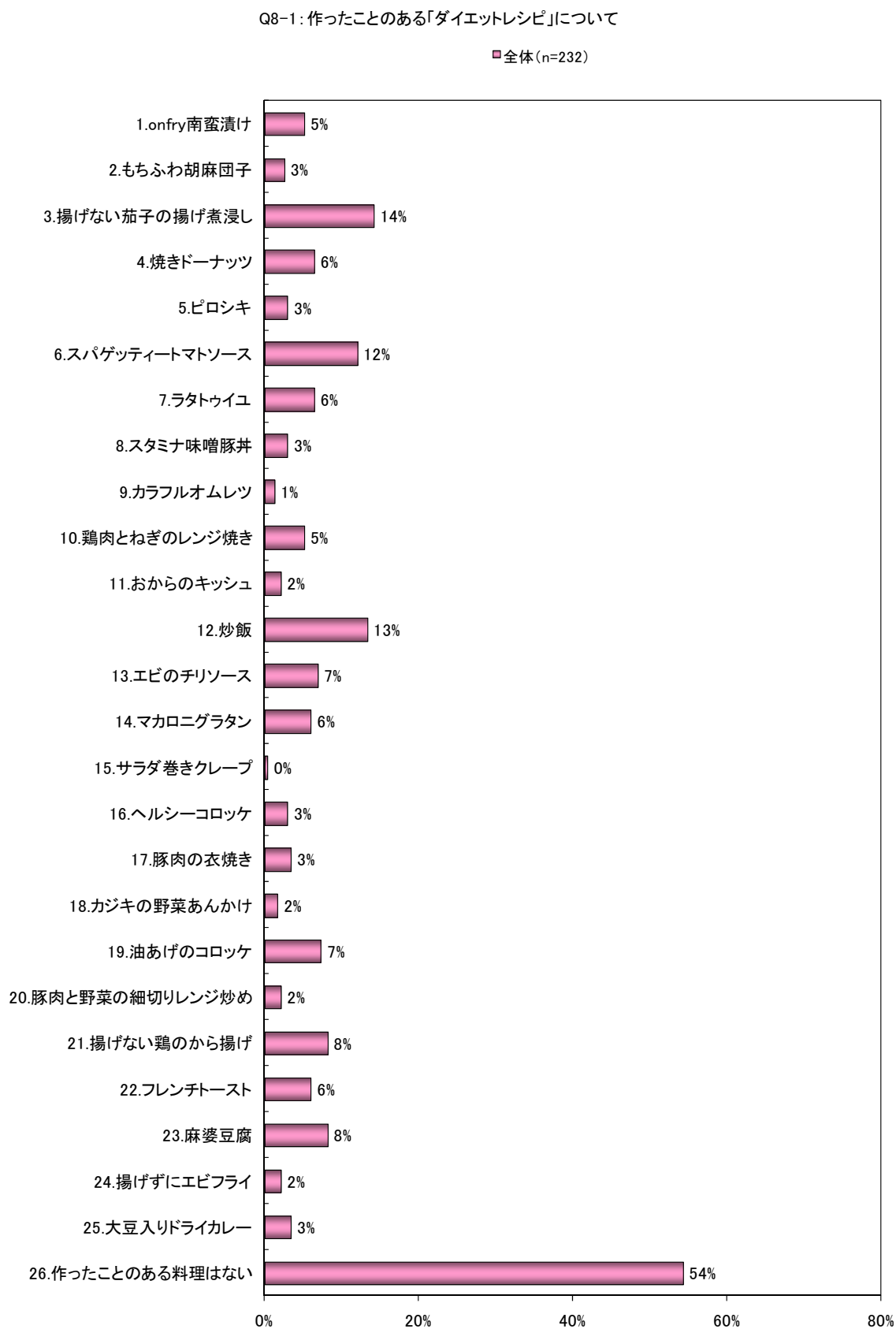


図3-3 作ったことのある「ダイエットレシピ」について（男女別）

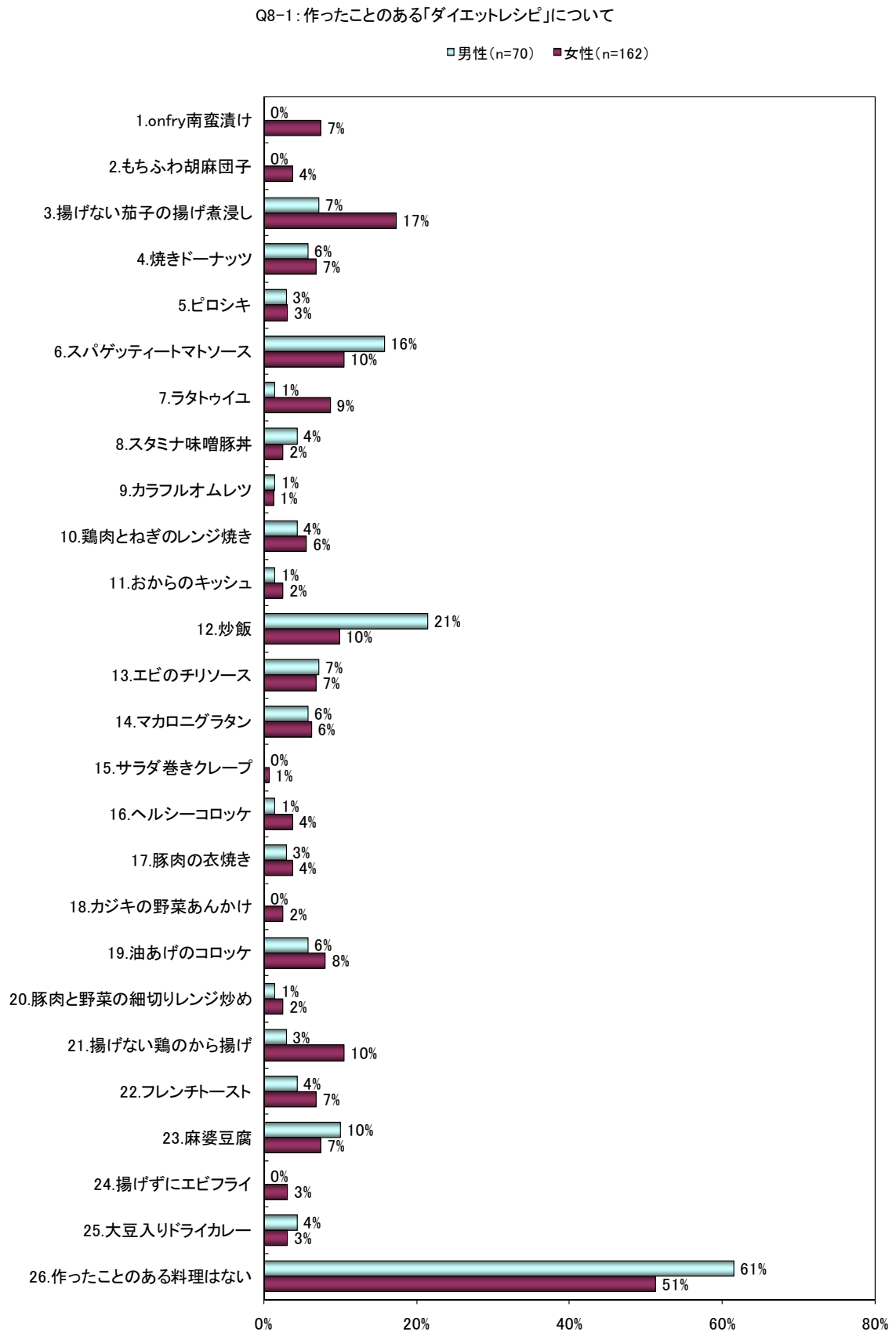


図 3-4 作ったことのある「ダイエットレシピ」について（地域別）

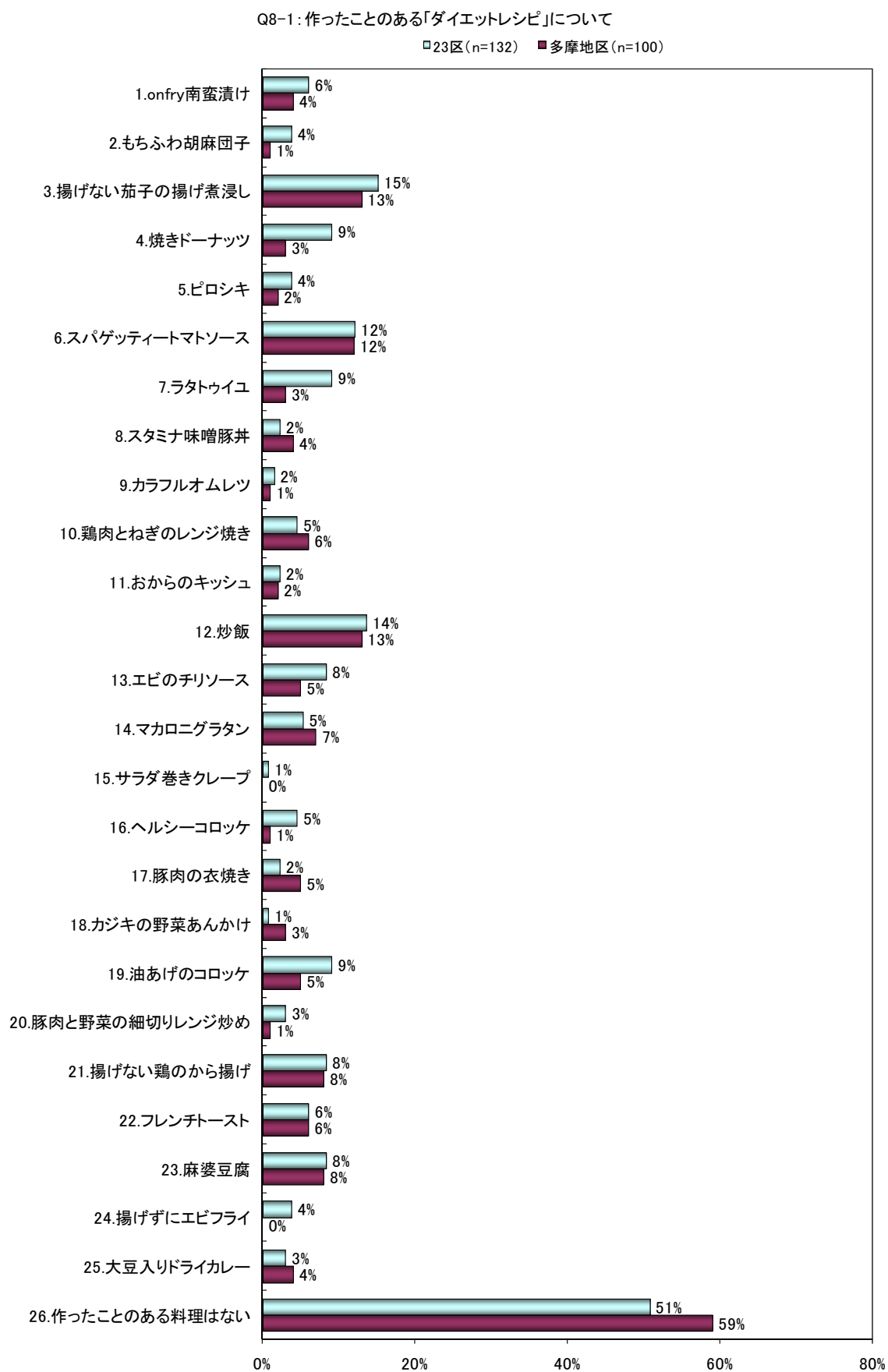
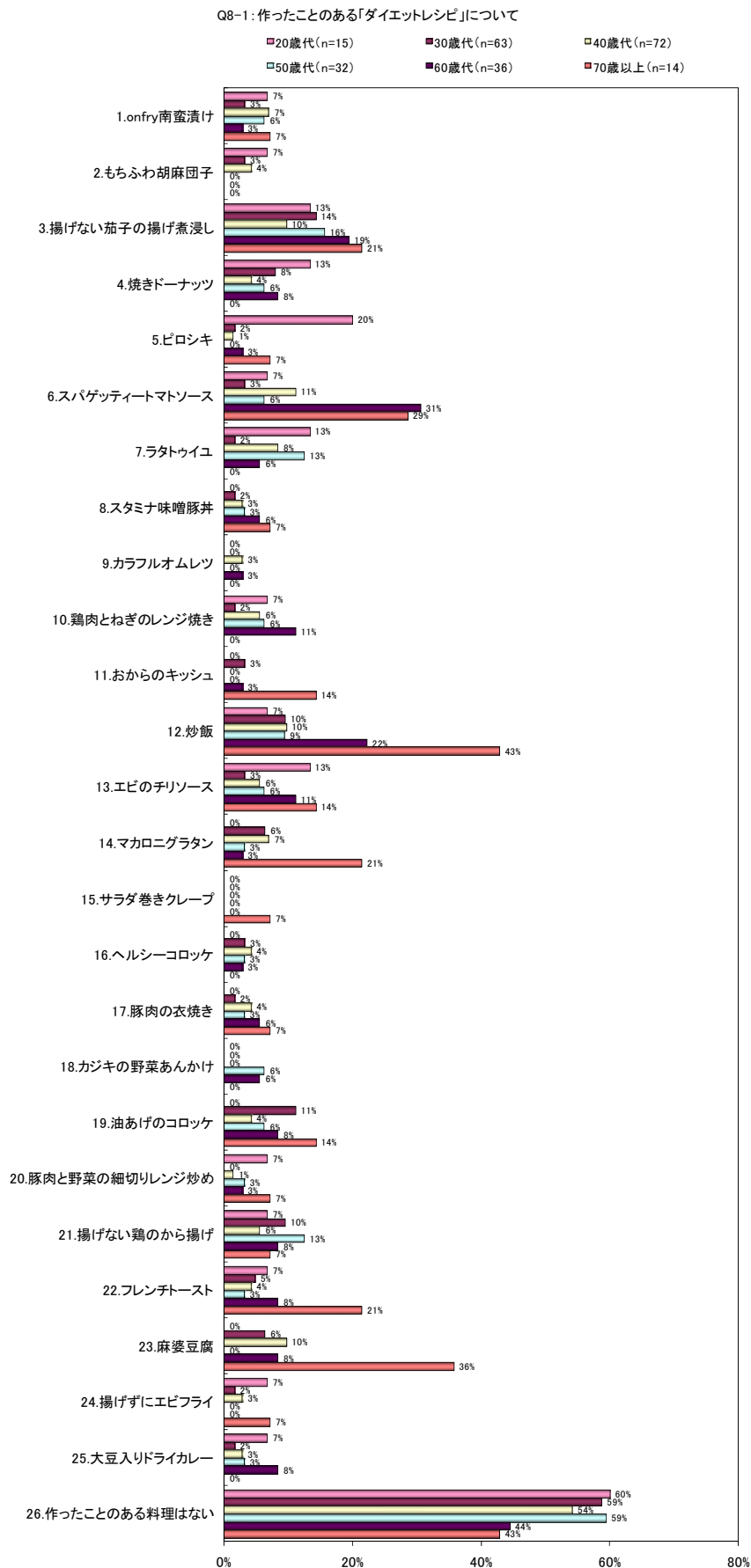


図 3-5 作ったことのある「ダイエットレシピ」について（年代別）



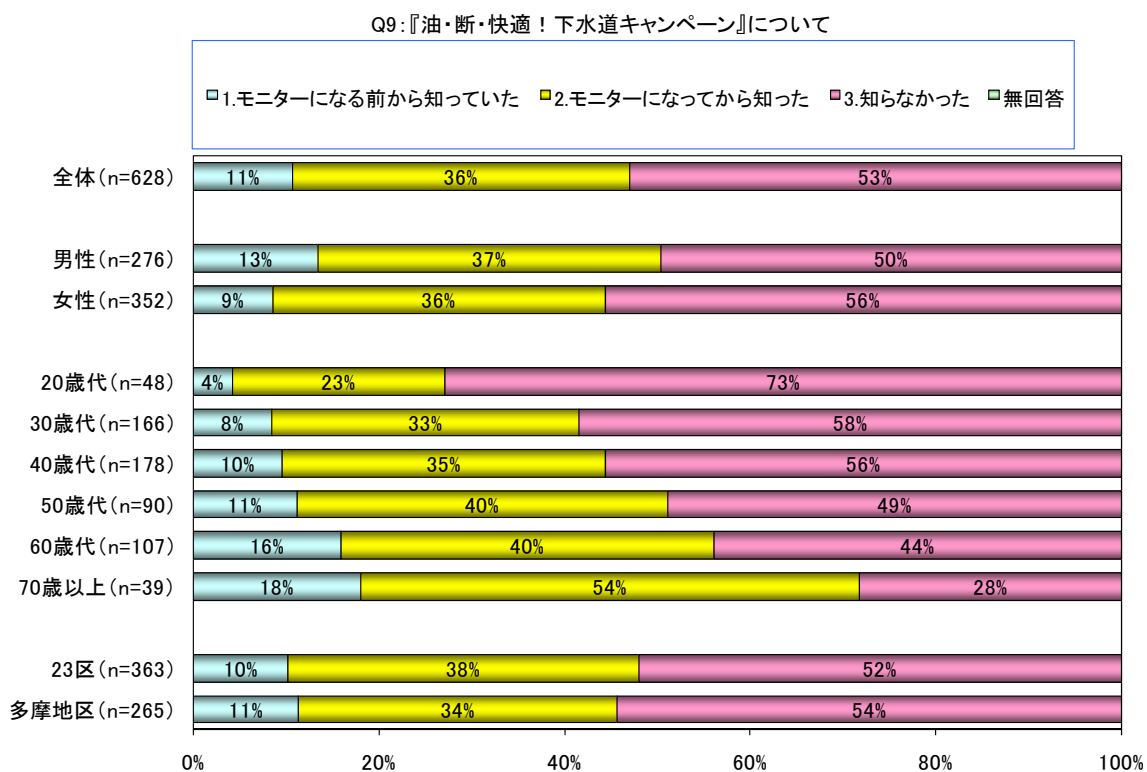
4. 『油・断・快適！下水道』キャンペーンについて

4-1. 『油・断・快適！下水道キャンペーン』について

- 『油・断・快適！下水道キャンペーン』のキャンペーンの認知状況についてみる。全体では回答が高くなった順に「知らなかった」53%、「2. モニターになってから知った」36%、「1. モニターになる前から知っていた」11%となった。
- 男女別・地域別にみると、全体と同じ傾向を示した。なお、男女別に「1. モニターになる前から知っていた」の回答をみると、男性は 13%、女性では 9%となり、男性が 4 ポイント高くなった。また地域別に「1. モニターになる前から知っていた」の回答をみると、23 区は 10%、多摩地区では 11%となり、多摩地区が 1 ポイント高くなった。
- 年代別にみると、年代が上がるにつれて「知らなかった」と回答する割合が低下する。

Q9. 東京都下水道局では、毎年秋期に、下水道に油を流さないよう都民の皆さまにお願いをする取り組み『油・断・快適！下水道キャンペーン』を行っています。あなたは、このキャンペーンをご存じでしたか。以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい。（単一回答）。

図4-1 『油・断・快適！下水道キャンペーン』について

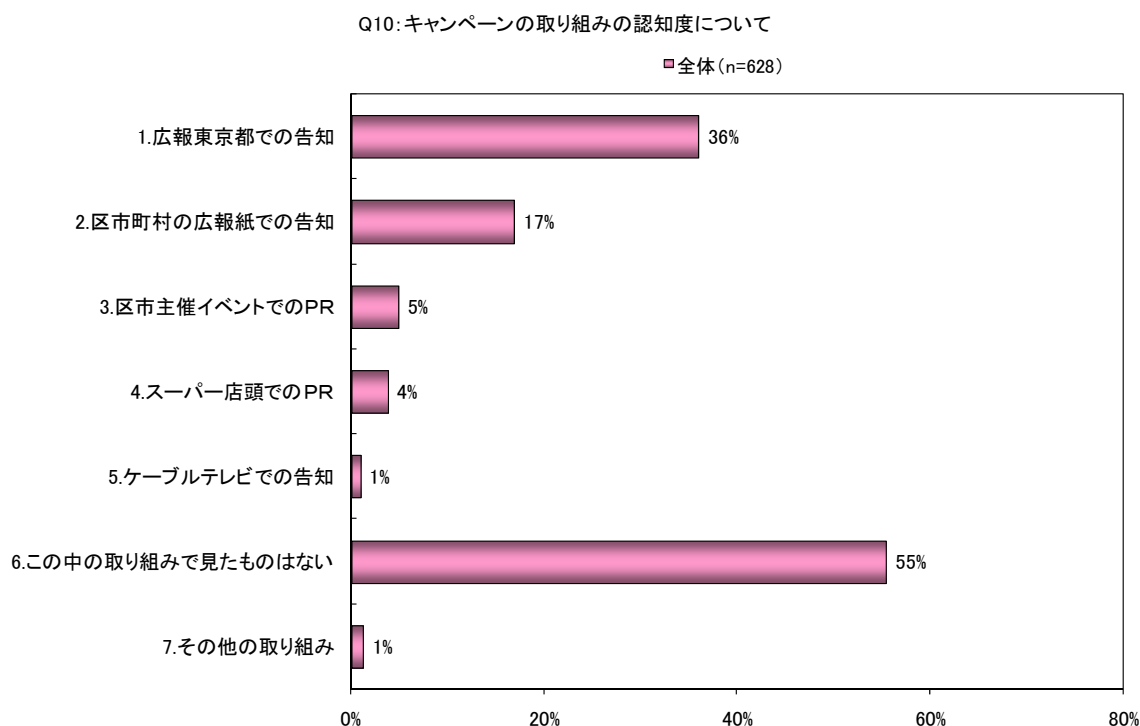


4-2. キャンペーンの一取り組みの認知度について

- キャンペーン期間中の取り組みの認知度についてみる。全体では「6. この中の取り組みで見たものはない」55%、「1. 広報東京都での告知」36%、「2. 区市町村の広報紙での告知」17%であった。
- 男女別・地域別にみると、全体と同じ傾向を示した。
- 年代別にみると、70 歳以上を除き、全体と同じ傾向を示した。70 歳以上では回答の割合が高くなった順に、「1. 広報東京都での告知」56%、「6. この中の取り組みで見たものはない」38%、「2. 区市町村の広報紙での告知」28%となった。なお、年代別で 2 番目に高くなった「1. 広報東京都での告知」は年代が上がるにつれて回答の割合も高くなった。最も低い 20 歳代 19%、また最も高い 70 歳以上では 56%となった。両者の差は 37 ポイントとなった。

Q10. キャンペーン期間中、様々な取り組みを行いました。次の中で、あなたをご覧になった取り組みはありますか。以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。（複数回答）。

図 4-2 キャンペーンの一取り組みの認知度について



「7. その他の取り組み」の記載内容のうち、主な意見を以下に紹介する。

- ◆ 下水道イベントでの告知
- ◆ 下水道モニターメールマガジン第 8 号で知った
- ◆ 水再生センター
- ◆ 主人が下水道モニターを務めたことがあり、そのときのパンフレットで
- ◆ 先の見学会でのぼりをみました
- ◆ 小学校で配られるパンフレット

図4-3 キャンペーンの一取り組みの認知度について(男女別)

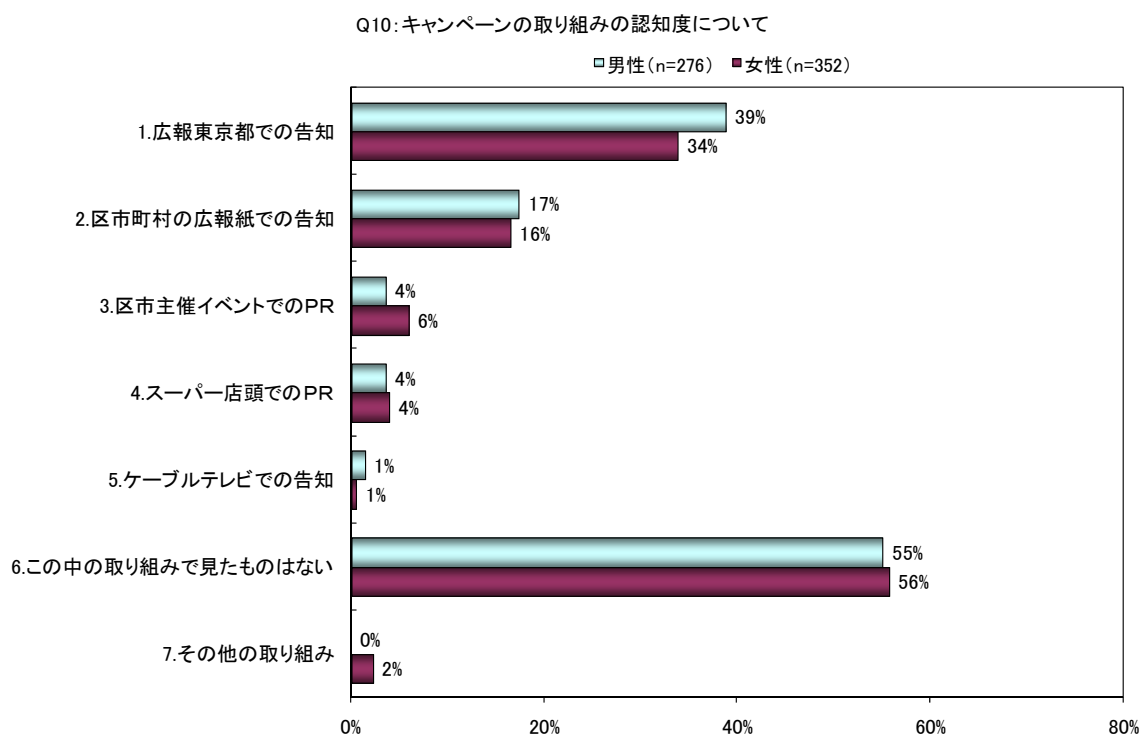


図4-4 キャンペーンの一取り組みの認知度について(地域別)

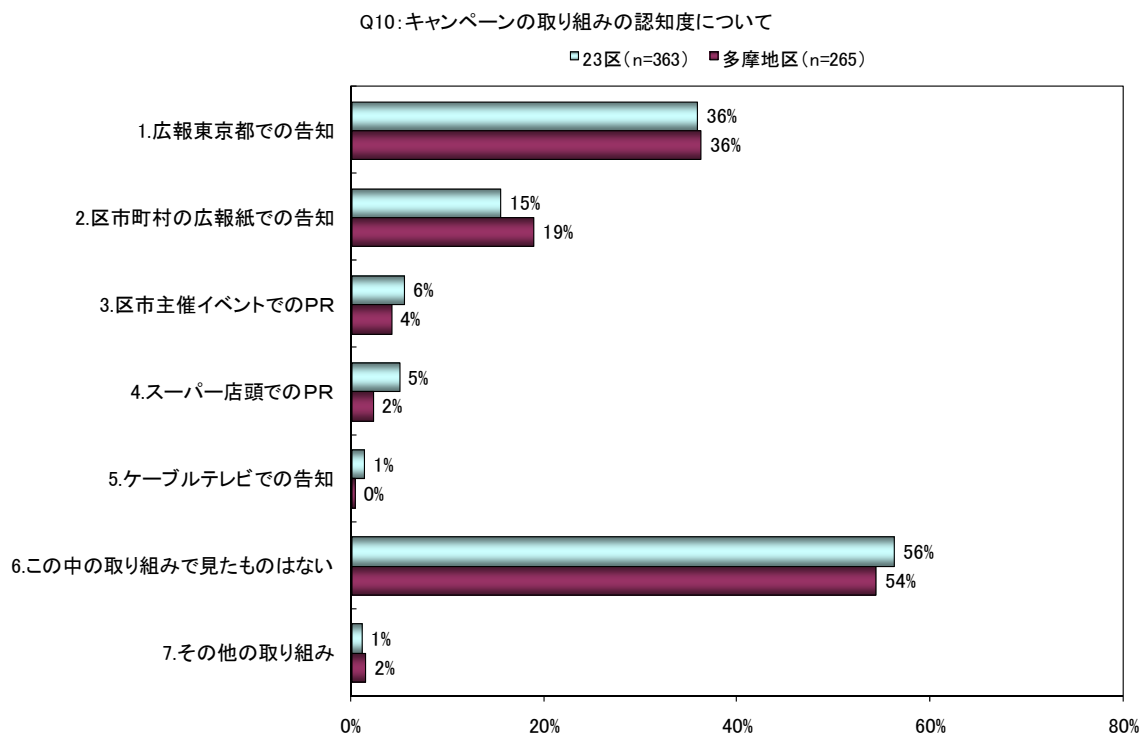
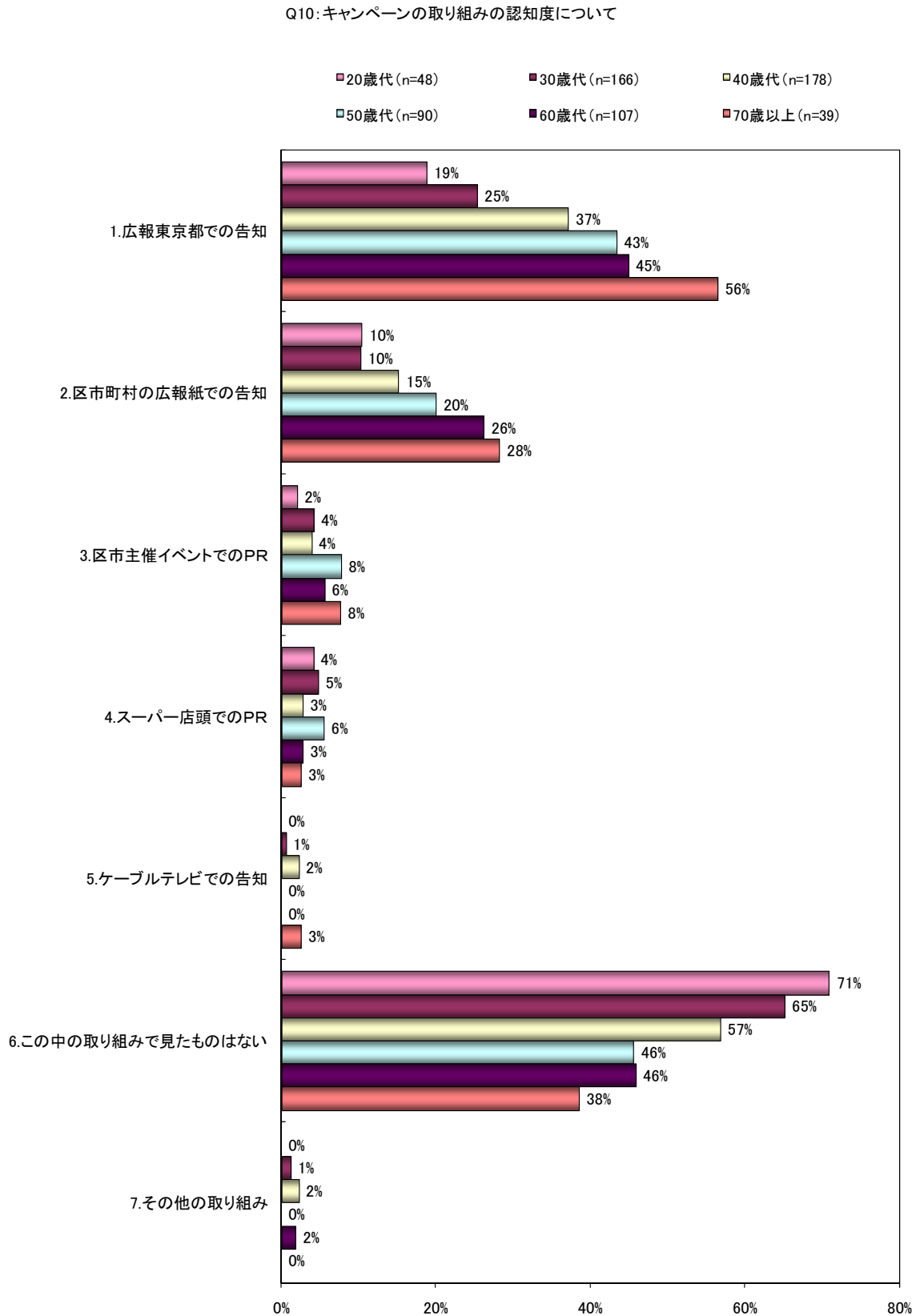


図4-5 キャンペーンの一取り組みの認知度について（年代別）

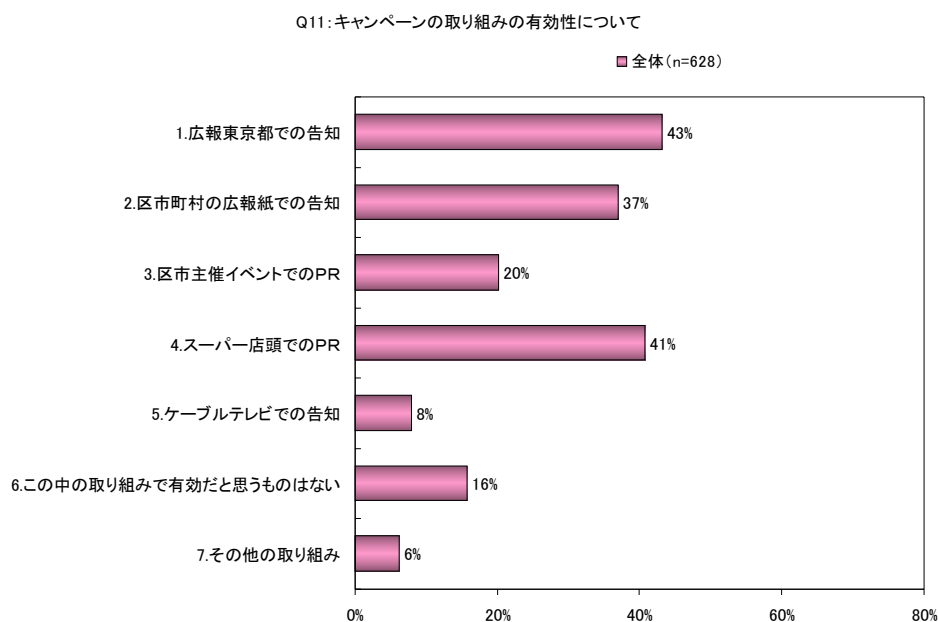


4-3. キャンペーンの実施の有効性について

- キャンペーンの実施の有効性についてみる。全体で回答の割合が高くなった順に「1. 広報東京都での告知」43%、「4. スーパー店頭でのPR」41%、「2. 区市町村の広報紙での告知」37%となった。
- 男女別にみると上位3位まで全体と同じ傾向となった。
- 地域別にみると、23区では回答の割合が高くなった順に「1. 広報東京都での告知」および、「4. スーパー店頭でのPR」はともに44%、次いで「2. 区市町村の広報紙での告知」34%となった。多摩地区では、「1. 広報東京都での告知」および、「2. 区市町村の広報紙での告知」はともに42%、次いで「4. スーパー店頭でのPR」37%となった。
- 年代別にみると、40歳代および50歳代は上位3位まで全体と同じ傾向となった。以降各年代別の回答結果を示す。20歳代は「4. スーパー店頭でのPR」48%、「1. 広報東京都での告知」および「2. 区市町村の広報紙での告知」31%となった。次に30歳代では「4. スーパー店頭でのPR」45%、「1. 広報東京都での告知」40%、「2. 区市町村の広報紙での告知」32%となった。60歳代では、「2. 区市町村の広報紙での告知」45%、「1. 広報東京都での告知」39%、「4. スーパー店頭でのPR」36%となった。最後に70歳以上では「1. 広報東京都での告知」および「2. 区市町村の広報紙での告知」59%がともにとなり、3番目に「3. 区市主催イベントでのPR」および「4. スーパー店頭でのPR」がともに23%となった。

Q11. 上あなたは、今回のキャンペーンの中で、どの取り組みがもっとも有効であったと思いますか。以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。（複数回答）。

図4-6 キャンペーンの実施の有効性について



「7. その他の取り組み」の記載内容のうち、主な意見を以下に紹介する。

- ◆ twitter や facebook といった若者がアクセスするメディアでの告知も必要だと思う。若者は広報紙をみたり、スーパー店頭での告知等では情報にアクセスできない
- ◆ 料理教室などの協力
- ◆ テレビ・ラジオCM
- ◆ インターネットのバナー広告での告知
- ◆ テレビ、新聞等での告知
- ◆ 煙草のように全油製品に注意書き、綺麗に簡単に油が落ちるというCMはご法度
- ◆ ネットテレビでのPR
- ◆ ACでの広告
- ◆ 各家庭にチラシを配布
- ◆ 各地地元のお祭りでのPR（出展）
- ◆ 電車、駅の広告
- ◆ 使用済み油を買取ってみる

図4-7 キャンペーンの取り組みの有効性について(男女別)

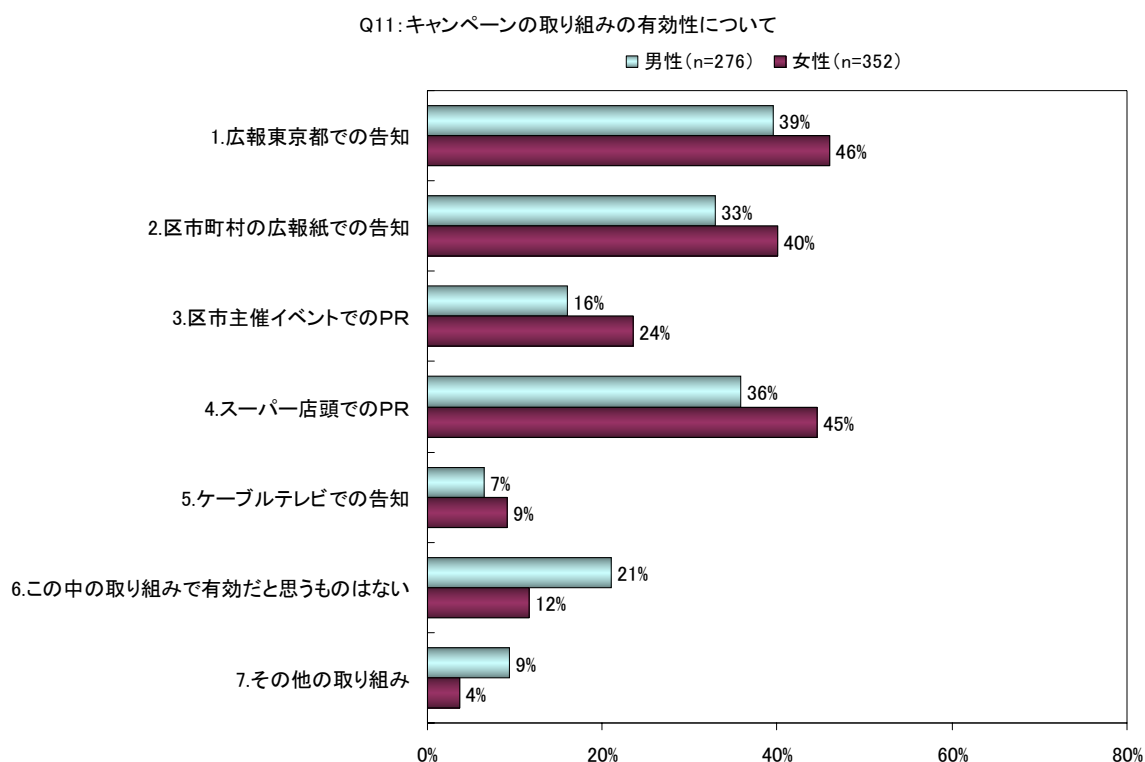


図4-8 キャンペーンの取り組みの有効性について(地域別)

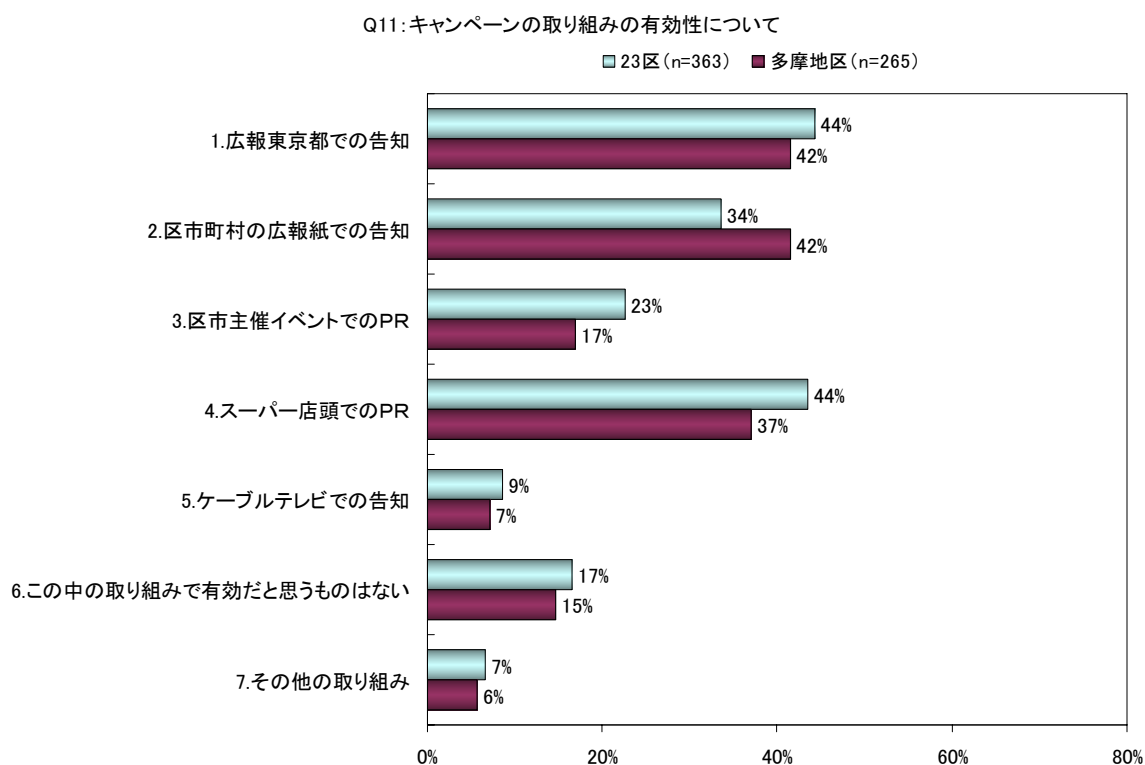
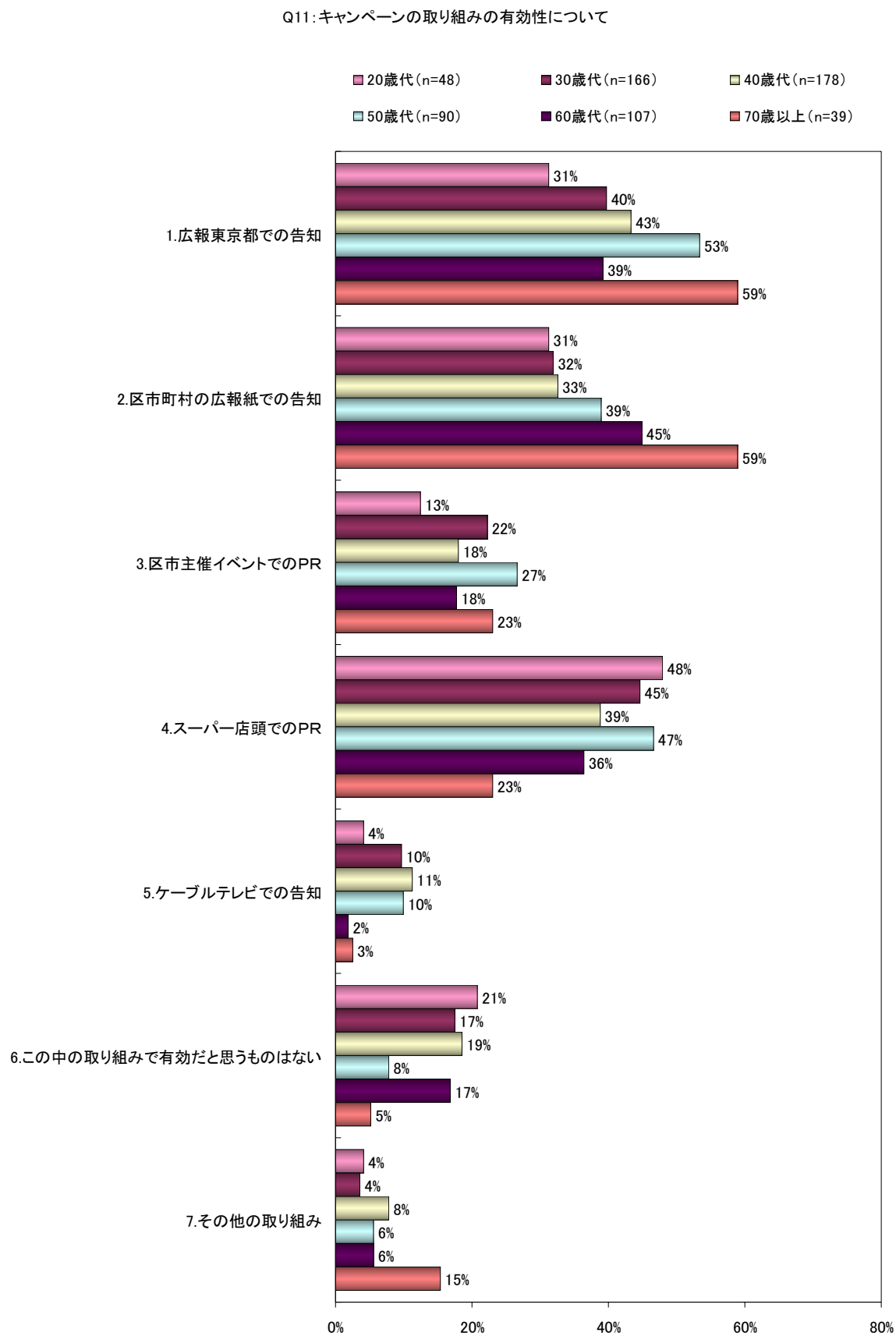


図4-9 キャンペーンの一取り組みの有効性について(年代別)



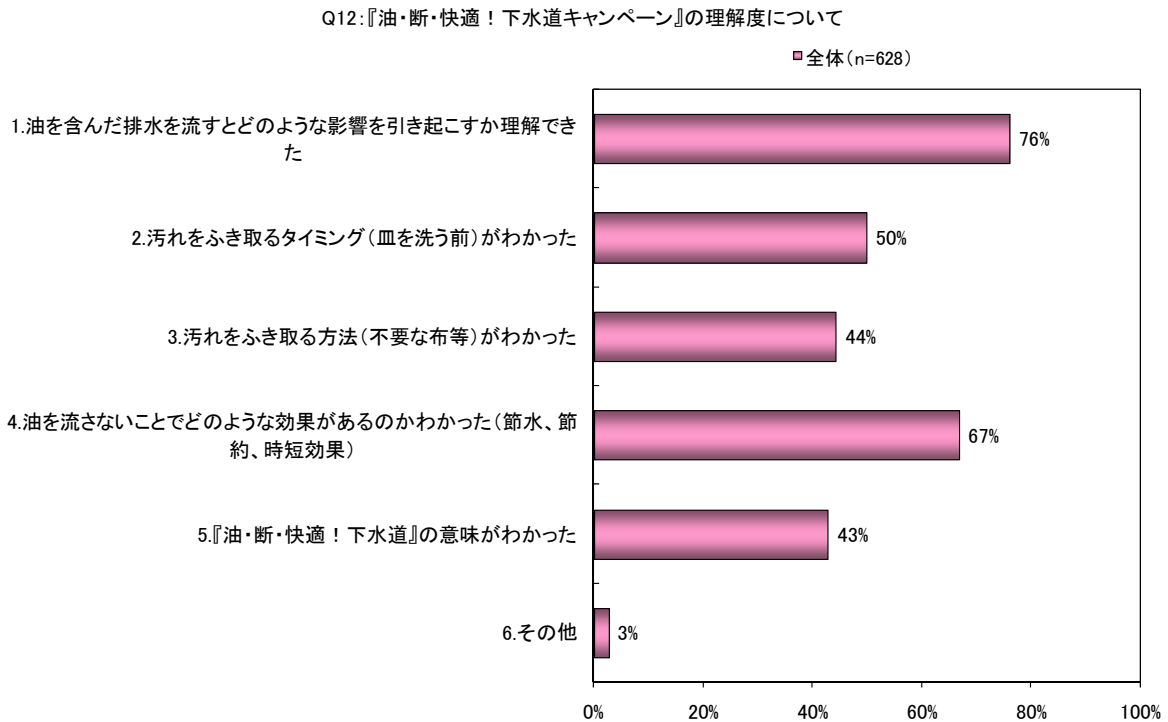
4-4. 『油・断・快適！下水道キャンペーン』の理解度について

- 『油・断・快適！下水道キャンペーン』のポスターの理解度をみる。全体では回答が高くなった順に、「1. 油を含んだ排水を流すとどのような影響を引き起こすか理解できた」76%、「4. 油を流さないことでどのような効果があるのかわかった（節水、節約、時短効果）」67%、「2. 汚れをふき取るタイミング（皿を洗う前）がわかった」50%となった。
- 男女別・地域別にみると、上位3位までは全体と同じ傾向を示した。
- 年代別にみると、20歳代および70歳以上を除き、全体と同じ傾向を示した。20歳代では、「1. 油を含んだ排水を流すとどのような影響を引き起こすか理解できた」および「4. 油を流さないことでどのような効果があるのかわかった（節水、節約、時短効果）」がともに73%、次いで「2. 汚れをふき取るタイミング（皿を洗う前）がわかった」60%となった。また70歳以上では、「1. 油を含んだ排水を流すとどのような影響を引き起こすか理解できた」79%、「4. 油を流さないことでどのような効果があるのかわかった（節水、節約、時短効果）」69%、「3. 汚れをふき取る方法（不要な布等）がわかった」49%となった。

Q12. 図は『油・断・快適！下水道キャンペーン』のポスターです。こちらをご覧になってあなたはどのようなことが理解できましたか。以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。（複数回答）。



図4-10 『油・断・快適！下水道キャンペーン』の理解度について



「6. その他」の記載内容のうち、主な意見を以下に紹介する。

- ◆ 上記選択肢の内容についてはすでに知っていた
- ◆ 「台所は、」が印象的
- ◆ 下水道は川、海につながっている
- ◆ 布でふき取ってゴミを増やすよりヘラでそのまま生ごみ入れにぶちこむほうが環境に良いと感じた
- ◆ よく読まないと『油・断・快適・下水道』の意味がわからない。標語を見ても意味不明なので関係ないと内容を見ない人が多いのでは？
- ◆ 何故時間短縮になるのかわからない。手間は2倍になるのに・・・

図4-1 1 『油・断・快適！下水道キャンペーン』の理解度について（男女別）

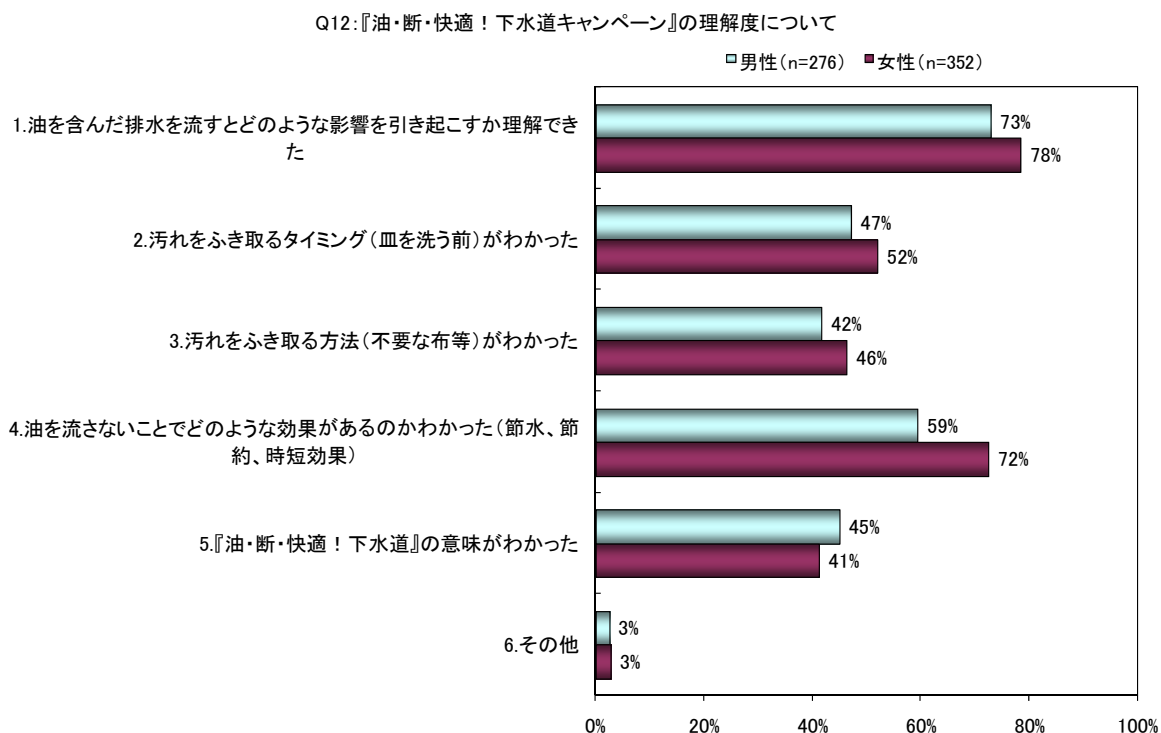


図4-1 2 『油・断・快適！下水道キャンペーン』の理解度について（地域別）

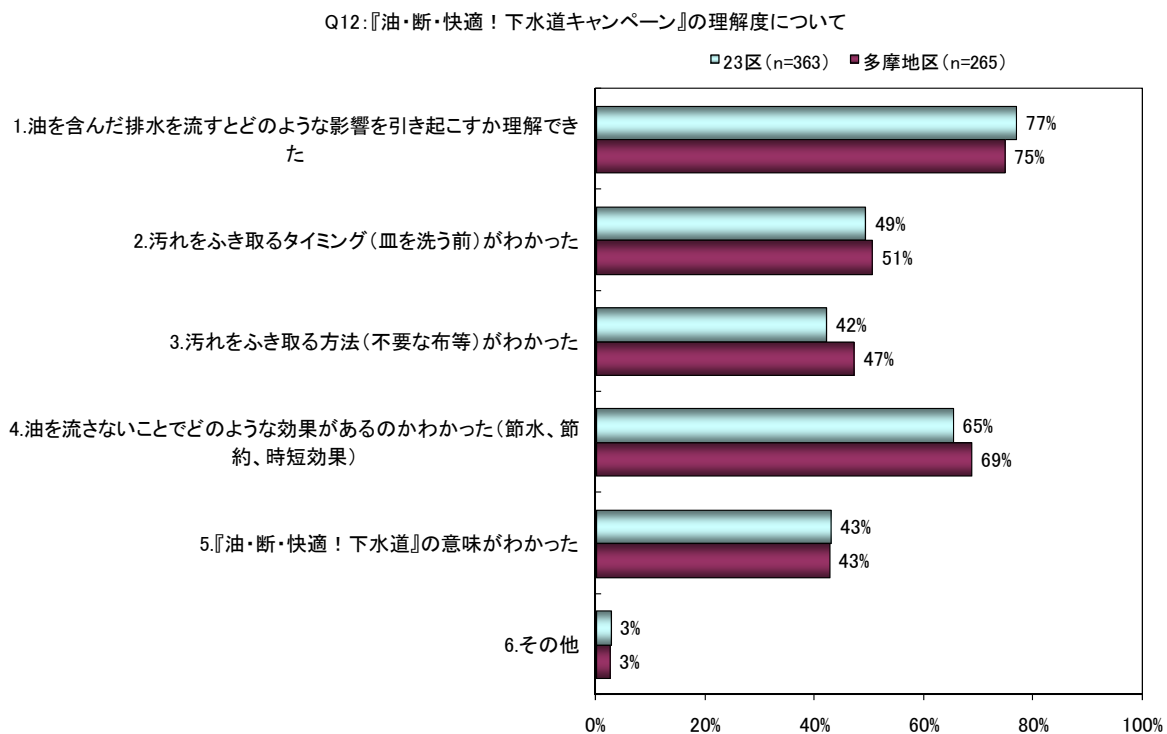
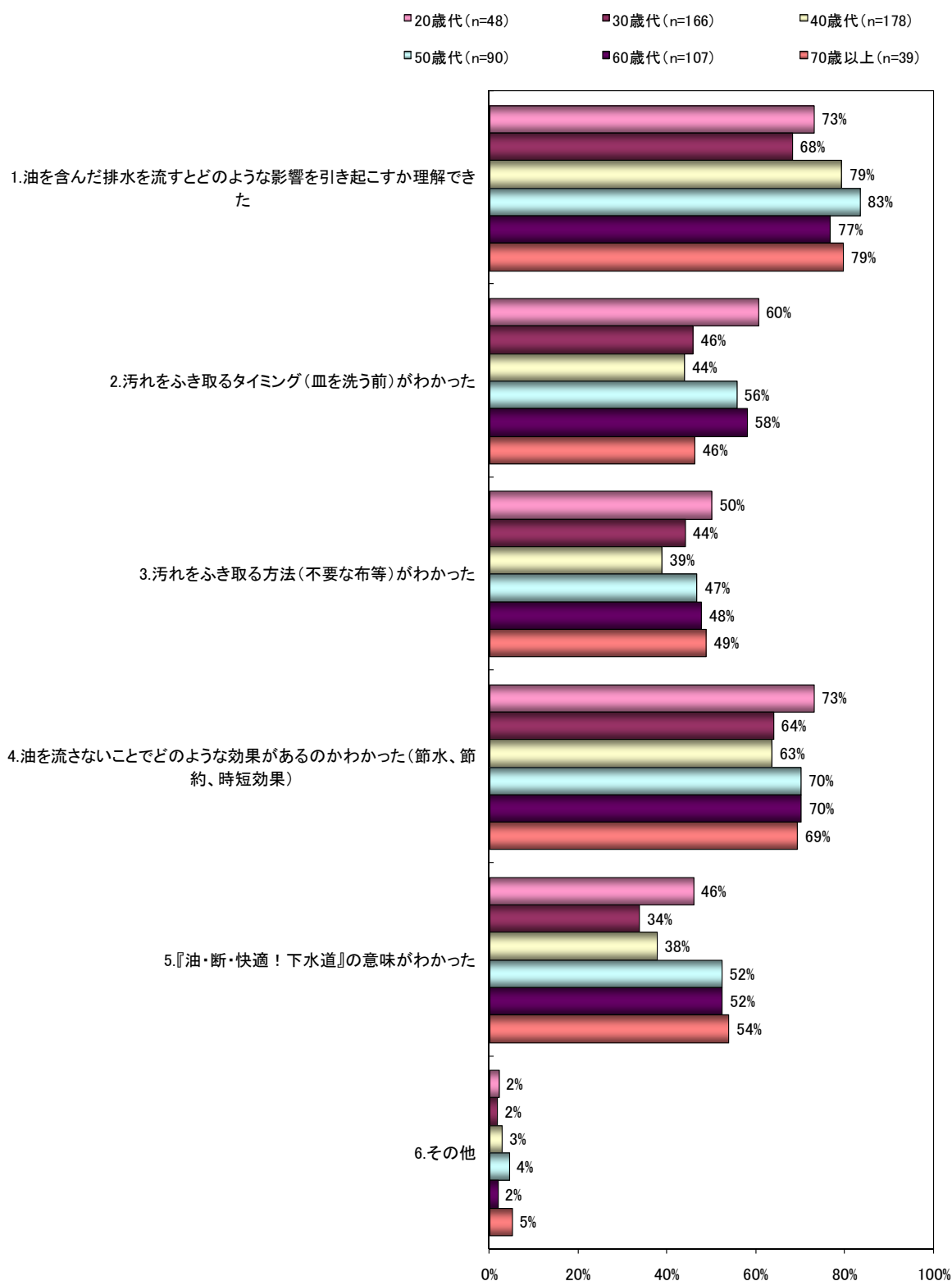


図4-13 『油・断・快適！下水道キャンペーン』の理解度について（年代別）

Q12:『油・断・快適！下水道キャンペーン』の理解度について

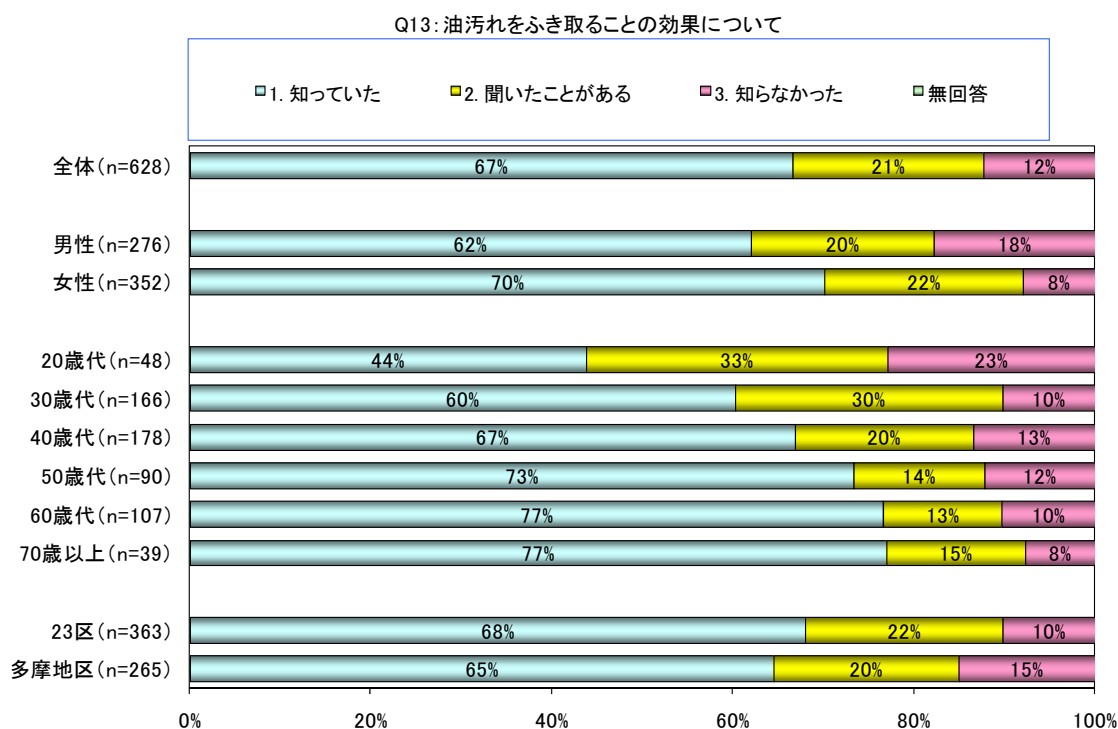


4-5. 油汚れをふき取ることの効果について

- 油汚れをふき取ることの効果についてみる。全体では、「1. 知っていた」67%、「2. 聞いたことがある」21%、「3. 知らなかった」12%となった。
- 男女別、年代別、地域別にみると、上位3位まで全体と同じ傾向を示した。
- なお、「1. 知っていた」の回答に注目すると、男女別では、男性62%、女性70%であり、女性が8ポイント高くなった。
- 年代別にみると、年代が上がるに従い「1. 知っていた」と回答する割合が高くなった。最も低い20歳代は44%、最も高い60歳代および70歳以上は77%となった。両者の差は33ポイントとなった。
- 地域別では、23区は68%、多摩地区65%となり、23区が3ポイント高くなった。

Q13. あなたは、油汚れをふき取ることが、洗剤や水の節約、下水処理を容易にすることにつながることをご存じでしたか。以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい。（単一回答）。

図4-14 油汚れをふき取ることの効果について



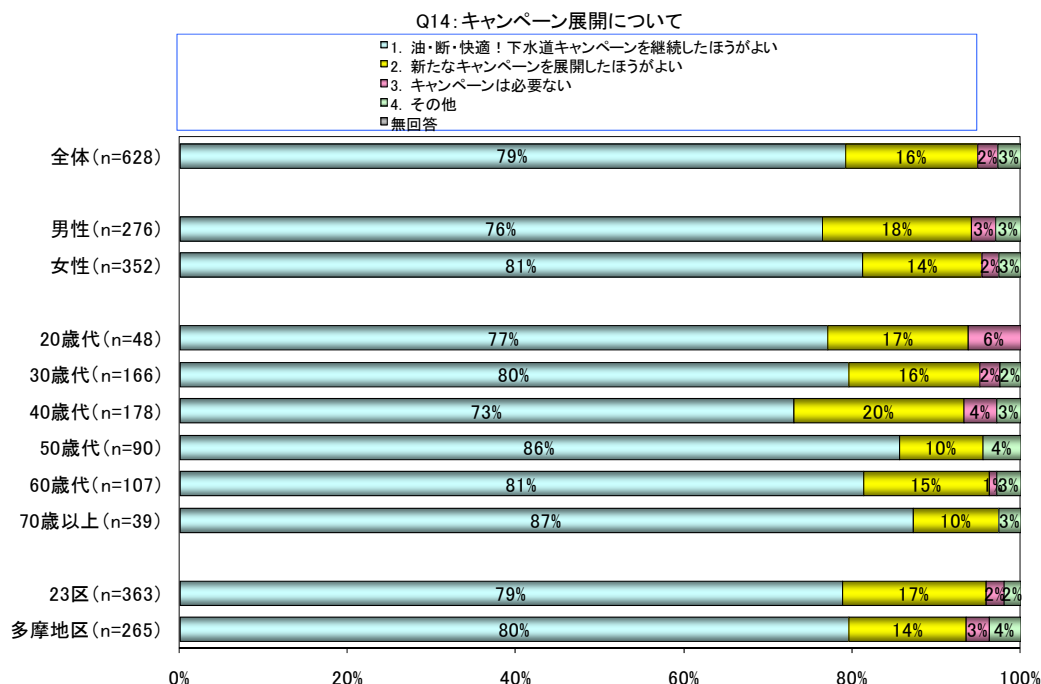
5. 新たなキャンペーン展開について

5-1. キャンペーン展開について

- 今後のキャンペーンについて意見を求めたところ以下のような結果となった。全体では回答が高くなった順に「1. 油・断・快適！下水道キャンペーンを継続したほうがよい」79%、「2. 新たなキャンペーンを展開したほうがよい」16%、「4. その他」3%となった。
- 男女別にみると、女性は上位3位まで全体と同じ順番となった。男性では回答が高くなった順に「1. 油・断・快適！下水道キャンペーンを継続したほうがよい」76%、「2. 新たなキャンペーンを展開したほうがよい」18%、「3. キャンペーンは必要ない」および「4. その他」がともに3%となった。
- 年代別にみる。ここでは「1. 油・断・快適！下水道キャンペーンを継続したほうがよい」に注目してみると、最も回答した割合が高くなったのは70歳以上で87%、逆に最も低くなったのは、40歳代73%となった。
- 地域別にみると、多摩地区は上位3位まで全体と同じ順番となった。23区では回答が高くなった順に「1. 油・断・快適！下水道キャンペーンを継続したほうがよい」79%、「2. 新たなキャンペーンを展開したほうがよい」17%、「3. キャンペーンは必要ない」および「4. その他」がともに2%となった。

Q14. 今後のキャンペーンについて、あなたのお考えに近いものはありますか。以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい。(単一回答)。

図5-1 キャンペーン展開について



「４．その他」の記載内容のうち、主な意見を以下に紹介する。

- ◆ キャンペーンは継続した方が良いと思うが、ネーミングは再考した方が良いように思います
- ◆ 告知範囲を拡げた方がよい
- ◆ 環境省に任せるべき
- ◆ 油・断・快適キャンペーンを未だ知らない・理解できていない人がいるような気がする。キャンペーンの拡大が必要ではないか？
- ◆ 内容は同一で、広報媒体を変える
- ◆ キャンペーン費用を、今度は使用済み油を買い取るキャンペーンにしてください
- ◆ 他のキャンペーンをしながら継続して告知は必要
- ◆ キャンペーンに若いママモデルを起用する

5-2. キャンペーン展開の回答の理由

- 今後のキャンペーン展開に対する自由回答をみる。前問（Q14）で「1. 油・断・快適！下水道キャンペーンを継続したほうがよい」と答えた方の理由は、「いまだ認知度が低い」との回答が38%、「継続が浸透につながる」との回答が36%であった。
- 次に「新たなキャンペーンを展開したほうがよい」と答えた方の理由では、「キャンペーンを知らなかった」との回答が27%、「インパクトが小さい・地味」との回答が24%であった。
- 以下に、それぞれの理由を多数お答えいただいたので一部ご紹介する。

Q14-1. Q14 であなたがそのようにお答えになった理由をご記入ください。（自由回答）。

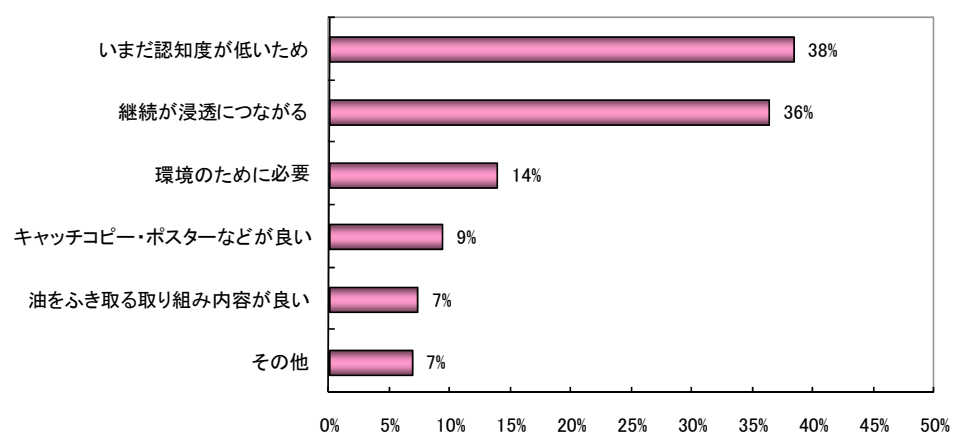
【1. 油・断・快適！下水道キャンペーンを継続したほうがよいと答えた方の理由】

図5-2-1 「1. 油・断・快適！下水道キャンペーンを継続したほうがよい」と

答えた方の理由

Q14-1 Q14で1. 油・断・快適！下水道キャンペーンを継続したほうがよいと答えた方の理由

■ 全体(n=251)



1. 「いまだ認知度が低い」と関連した意見

- ◆ いまだ浸透していないと思うので再度活動してほしい。(40歳代女性、23区)
- ◆ 自分自身知らなかったので今後も告知は有効であると思えるので。(40歳代男性、23区)
- ◆ お皿やおなべの油汚れのふき取りの実施率がまだ低いから。(40歳代女性、多摩地区)
- ◆ 油・断・快適！が下水道キャンペーンとは十分に一般都民に知られていない。(50歳代女性、23区)

2. 「継続が浸透につながる」と関連した意見

- ◆ 同じキャンペーンを継続して繰り返す事により、消費者の関心を惹くのではないかと

- ったからです。(50 歳代女性、23 区)
- ◆ 非常に身近でかつ有効的なキャンペーンなので、継続して欲しいです。(30 歳代男性、多摩地区)
 - ◆ すでに知っているかた、実践されているかたでも、面倒でやらないことがあると思うので、意識の再確認の意味でも続けたほうがいいとおもいます。(40 歳代女性、23 区)
 - ◆ 定期的に継続して行うことによって人々の意識に根付いていくと思うので。(30 歳代女性、23 区)

3. 「環境のために必要」に関連した意見

- ◆ 油を下水道に流すことにより、環境破壊が起こることを理解しました。このことを少しでも多くの方に、理解してもらうことが肝要と思います。(50 歳代女性、23 区)
- ◆ 家庭での小さな手間で、広い大きな川や海を汚さずに少しでも守る事が出来るから……。 (70 歳以上女性、多摩地区)
- ◆ 環境汚染を少しでもみんなに意識してもらうのは良いことなのでこれからも環境保護のために行ってもらいたい。(20 歳代女性、23 区)
- ◆ 環境を守る事に重要性を感じるので。(40 歳代男性、23 区)

4. 「キャッチコピー・ポスターなどが良い」に関連した意見

- ◆ キャッチフレーズがよくできていて油をふき取ることのメリットが4文字に表れている。伝達力があると思うのでこれからも続けるべき。(60 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 語呂が良く、一度みればすぐ理解できるから。(30 歳代男性、23 区)
- ◆ 「油・断・快適！」は記憶されやすいスローガンで、新たなキャンペーンを打ち出すより継続して周知の徹底に努めた方が効果があると考えたから。(20 歳代男性、多摩地区)
- ◆ なかなか良いキャッチコピーなのでさらに定着するように広報する方が良いと思う。(60 歳代男性、多摩地区)

5. 「油をふき取る取り組みが良い」に関連した意見

- ◆ とても大切なことなので持続する必要がある。キャンペーンの内容自体も子どもから大人まで分かりやすい内容になっているので、告知するには最適の内容だと思う。身近なところからはじめられるので、実感もわく。よりたくさんの人に下水道の油を流す影響について、意識してもらうためにも必要。(20 歳代女性、23 区)
- ◆ 食器洗い等の気配りは、普段の生活の中で身近で簡単にできる下水道を改善できる方法だと思うから。(20 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 家庭における下水道保全のポイントを良くとらえているから。(70 歳以上男性、23 区)
- ◆ 食器洗いは、毎日の事だから、より注意を喚起するために必要。(50 歳代女性、23 区)

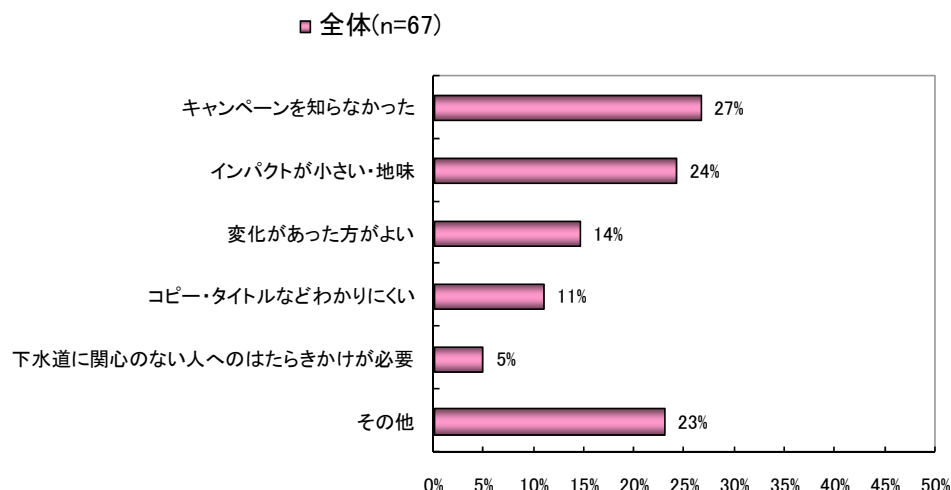
6. 「その他」に関連した意見

- ◆ 下水道への油の影響の知識を持っているのに、実践できていない現状を改善するために、多くの都民をまきこみ取り組んでもらうため。(20 歳代女性、23 区)

【2. 新たなキャンペーンを展開したほうがよいと答えた方の理由】

図5-2-2 「2. 新たなキャンペーンを展開したほうがよい」を選んだ理由

Q14-1 Q14で2. 新たなキャンペーンを展開したほうがよいと答えた方の理由



1. 「キャンペーンを知らなかった」に関連した意見

- ◆ 従来のものはあまり知られていないように思うから。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ あまりこのキャンペーンが世間に浸透していないと思うから。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 見たことが無い。(30 歳代男性、23 区)
- ◆ 特に聞いたことがないので、利用者にもっと届きやすいキャンペーン方法を考えたほうが良いと思う。(30 歳代男性、多摩地区)

2. 「インパクトが小さい・地味」に関連した意見

- ◆ 深刻な問題であるはずなのにその深刻さが伝わりづらい広告のような気がしました。もう少し衝撃的な写真などを使って緊急性を出してみてもいかがでしょうか。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ ポスターの印象が何かのんびりしていて、「下水道に油を流すと大変なことになる」というひっ迫感をあまり感じられず、「油を流しても大したことはないんだろう」と思われてしまうような気がします。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ ネットの動画サイト等を使って、油を流し続けると、どうなるのか、現場のリアルな状況を、視覚に訴えたほうが良いと思う。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ とても地味で目にとまりにくいので。(40 歳代女性、23 区)

3. 「変化があった方がよい」に関連した意見

- ◆ 意識を持っている人にはすでに知識がいきわたっていると思うので、それ以外の人たちを新たな方法で啓蒙すべき。(50 歳代男性、23 区)
- ◆ 今までのキャンペーンでかなり効果をあげているようですが、さらに浸透させるには違う方法もとりにれた方が良いのではないかと思います。(60 歳代女性、多摩地区)

- ◆ 同じキャンペーンを何年も行くとキャンペーン効果が少なくなると考えられる。(50 歳代男性、23 区)
- ◆ 目新しいもので注意を随時ひいたほうがいいのではないか。(30 歳代女性、多摩地区)

4. 「コピー・タイトルなどわかりにくい」に関連した意見

- ◆ 絵に目が行くが、油を流すことがいけない等字が小さい。(60 歳代女性、多摩地区)
- ◆ キャンペーン名が印象に残らないので。(20 歳代男性、多摩地区)
- ◆ キャッチコピーが分かりにくい。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ もう少し“油を下水道に流さないで”を大きく強調したキャンペーンの方がメッセージをきちんと伝えられるのでは。(30 歳代女性、23 区)

5. 「下水道に関心のない人へのはたらきかけが必要」に関連した意見

- ◆ イベント来場者は、普段から、その問題に興味を持っている人が多いと思うので、関心のない人に知ってもらう工夫もした方が良いのでは？(60 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 来場する人は関心が高い人だと思うので、来場しない人をいかに誘致するかが課題だと思う、また来場者の関心の高さもしくは実施率は比較的高めなので、これらを維持及び向上はもちろんだが、来場しない人たちへの認知と実施率を高めることが大切だと思う。(30 歳代女性、23 区)
- ◆ キャンペーンに参加する人たちや広報を普段から見ている人たちは、皆、下水道に関して多少なりとも関心を持っている。問題は、キャンペーンなどに関心を示さない人たちにいかに注目してもらうかだと思う。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ 興味がなければ見ないため。(30 歳代男性、多摩地区)

6. 「その他」に関連した意見

- ◆ ネットの動画サイト等を使って、油を流し続けると、どうなるのか、現場のリアルな状況を、視覚に訴えたほうが良いと思う(40 歳代男性、23 区)
- ◆ 家で、料理を作る人が、年々減ってきていると聞きます。油を大量に使う揚げ物は特にです。よって違う展開が、そろそろ必要かと思います。(40 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 油や、米のとぎ汁などをどう捨てればよいのか、もっと具体的に提案してほしい(60 歳代女性、多摩地区)

【3. キャンペーンは必要ないと答えた方の理由】

- ◆ キャンペーンをやった結果、河川に流れる油汚れの具合がどれだけ減ったかが示せない限り、キャンペーン自体が無駄と思う。効果が出てこそそのものだから。(40 歳代男性、多摩地区)
- ◆ キャンペーンをやる事を目標にするのではなく、下水道管の構造の改革をおこなうことが良いと考える。(20 歳代女性、23 区)

【4. その他と答えた方の理由】

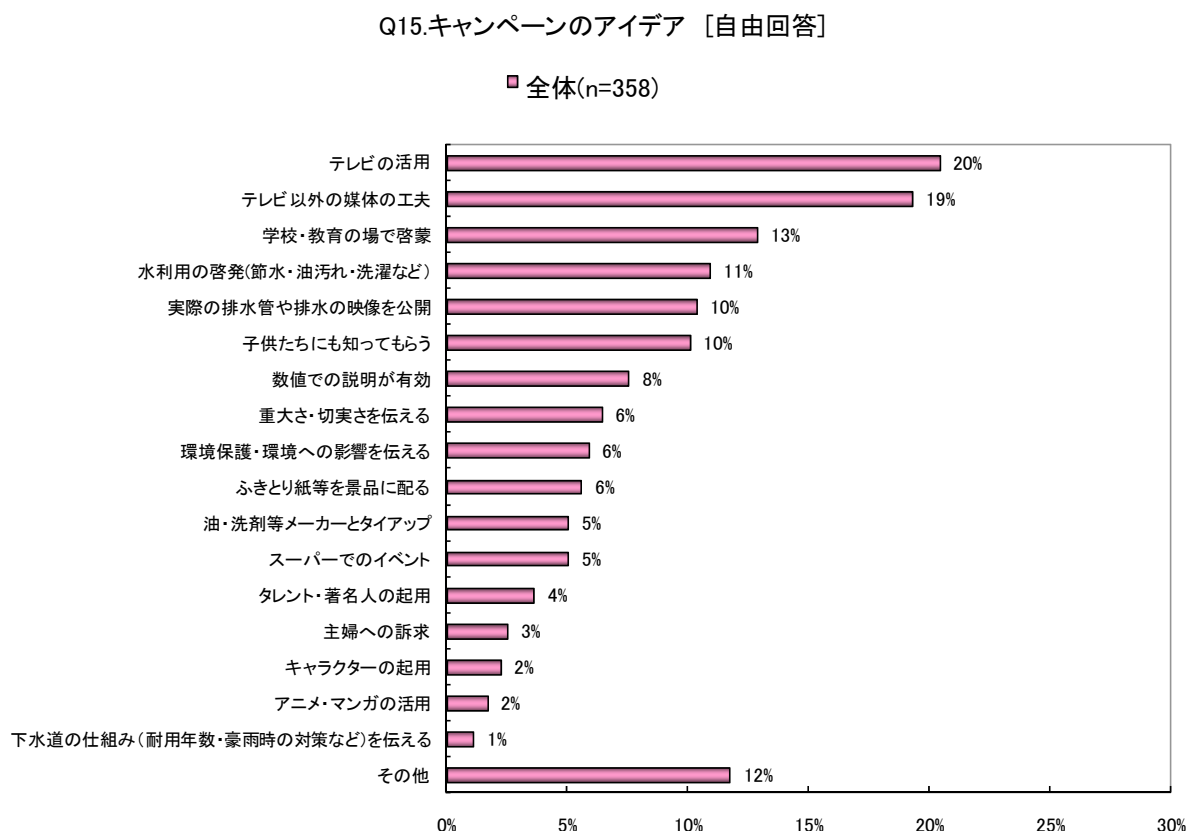
- ◆ 下水道局は下水道の整備やコスト削減に力を入れるべき。環境の事は環境省に任せるべき。重複業務を行う必要はない。お金の無駄です。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ 若い人や関心のないひとたちにたいする取り組みを工夫したほうがよいのではないかとおもいます。(50 歳代女性、多摩地区)
- ◆ こういうキャンペーンがあることに気づかなかった。とはいえ内容は至極まっとうだし、理解されれば「節約」の観点からも都民がなんら面倒くさがるような内容ではない。そのままの内容で、宣伝チャンネルを変えてみてはどうか。なにしろ下水道モニターでさえ気づかなかったくらいなのだから……。 (30 歳代男性、23 区)
- ◆ キャンペーンに高額予算をつけて、広報だけでは使用済み油の下水垂れ流しは止まりません。廃品回収のように、使用済み油を各家庭から買い取り、お金になることをリサイクル社会構築に尽力を。(30 歳代男性、23 区)

5-3. 新たなキャンペーンおよびアイデア

- 「新たなキャンペーン」や「油・断・快適！下水道キャンペーン」のアイデアを伺ったところ、「テレビの活用」と回答した方が20%と最も高かった。次に「テレビ以外の媒体の工夫」と回答した方も19%と高かった。
- 以下に、「新たなキャンペーン」や「油・断・快適！下水道キャンペーン」のアイデアを、多数お寄せいただいたので、一部ご紹介する。

Q15. あなたが有効だと思う「新たなキャンペーン」や「油・断・快適！下水道キャンペーン」のアイデアがあればぜひとも、お聞かせください。（自由回答）

図5-3 新たなキャンペーンおよびアイデア



1. 「テレビの活用」に関連した意見

- ◆ NHKの首都圏版のニュースで取り上げてもらう。(60歳代男性、多摩地区)
- ◆ テレビ・ラジオによる啓蒙・周知CMを繰り返し放送する。費用は莫大だと思いますが、現在はエコ・環境問題に不特定多数の人が耳目を傾けやすいと思うため、ある一定期間に一点集中投資する価値はあるように考えます。(40歳代男性、23区)
- ◆ テレビの番組で、油を流す→海が汚れる、という構図がはっきりわかる内容の特集してもらえばいいと思う。ただし、ケーブルテレビの番組では、効果が薄いと思う。(30歳代女性、23区)

- ◆ TVの公共広告。(40歳代男性、多摩地区)

2. 「テレビ以外の媒体の工夫」に関連した意見

- ◆ キャンペーンカーなどで、PRする機会をふやす。(60歳代男性、23区)
- ◆ 水道料金の領収書をキャンペーンに使う。(60歳代女性、多摩地区)
- ◆ 周知のチャンネルを増やすことが必要だと思う。スーパーやコンビニ、駅構内のデジタルサイネージを使って広報することが考えられる。(20歳代男性、多摩地区)
- ◆ TVのCMや新聞雑誌など、何気なく目に触れる媒体にのせるといいと思う。(40歳代男性、23区)

3. 「学校・教育の場で啓蒙」に関連した意見

- ◆ 小中学校で子供たちに教えて、親に進言してもらう。(30歳代女性、多摩地区)
- ◆ 子供たちへの教育(家庭科の時間などにあわせて教えるなど)。環境に関することとしてPRし、子供たちから親世代へ伝わるようになれば家庭でも実践する人がふえるのではと思う。(30歳代女性、23区)
- ◆ 小学校や中学校、高校などの教育機関や子どものある施設などで告知キャンペーンを行う。子どもに下水道のことを油を流すことで起こる影響などをより身近に知ってもらうことで、教育にもつながり、環境意識も高まる。また、家庭の中でも子どもと親が一緒になって考えるよい機会にもなる。(20歳代女性、23区)
- ◆ 小学校の出張授業などやらせてもらう。(50歳代女性、23区)

4. 「水利用の啓発(節水・油汚れ・洗濯など)」に関連した意見

- ◆ ゲリラ豪雨・台風による浸水などが心配な時期に、ストップ!!汚水!キャンペーンを行い、雨と下水処理と各家庭の排水とを関連づけ、他人事でないということを意識に植えつける。(30歳代女性、多摩地区)
- ◆ 各家庭で行っていることを具体的に写真入りなどで紹介してもいいと思います。例えば、私は古着を切って食器をふいています。油はオリーブオイルしか使いませんが、油は色に変色しても捨てずに全部使うことができると聞いたので、あげ油は再利用して捨てません。たぶん皆さん各家庭でいろいろと工夫していると思いますので、そういうことを「真似したいな」と思わせるようなしかけでキャンペーンをされてはどうでしょうか。(30歳代女性、多摩地区)
- ◆ 台所の排水口に熱湯を流してはいけないことを知らなかったの、キャンペーンをしてほしい。(50歳代女性、23区)
- ◆ そのまま洗剤溶液をつける場面が多用される、台所用洗剤のテレビCMが元凶のように思う。そういう傾向を否定するメッセージを送ることが要されよう。(40歳代男性、23区)

5. 「実際の排水管や排水の映像を公開」に関連した意見

- ◆ 家の排水管に油がこびりついているような写真を使って、油を流しているところになくなくなって、詰まって、水の流れが悪くなったり、取り換え費用がかかったりしますよ、という点を示し、油を流さないようにしてもらう。(20歳代男性、23区)
- ◆ 実際の写真を載せると実感が湧きやすいと思います。(20歳代女性、多摩地区)
- ◆ オイルボールの写真はポスター等でよく見るが、白黒写真でオイルボール本体だけが写

されている場合が多く、とてもわかりづらいと以前から感じていた。カラー写真で廻りの様子を写したり、実際触るとどんなに汚らしいもので海や川にでると困るものかが分かると思う。(40 歳代女性、23 区)

- ◆ テレビで都のお知らせ番組がありますが、あの様な番組で「油で詰まった排水管の様子を大きな写真」で説明すれば、言葉よりも良く判る。(70 歳以上男性、23 区)

6. 「子供たちにも知ってもらう」に関連した意見

- ◆ 小学校でお皿をふき取る実習をする。次世代の子供たちを教育することで家庭にもそれを広める。子供が教わってきたことは親が実践できることが多い。(30 歳代女性、23 区)
- ◆ 小学生の家庭科などで告知するといいいのではないのでしょうか。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 油が冷えて固まる様子や、油と洗剤を混ぜた溶液に水を加えていくと油が析出する実験等を、子供向けに見せてあげるイベントを開催する。(20 歳代男性、23 区)
- ◆ 下水道キャンペーンのゆるキャラを募集したりして、小さい子供達の下水道に対する意識を深める。(40 歳代女性、23 区)

7. 「数値での説明が有効」に関連した意見

- ◆ どれくらいの経済効果やメリットがあるか、数字で知らせるべき。(50 歳代男性、23 区)
- ◆ 自分の家庭の排水パイプに大きな影響があり、その結果重大な障害や被害、修繕の為に大きな出費等を紹介する。(60 歳代男性、23 区)
- ◆ 都のお知らせ、市の広報。市のおまつり、つり広告などで、分かりやすく説明する。どのようなことに気をつければ、どのような効果があるのか、数字や写真で分かりやすく知らせる。学校での教育も大事。(60 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 実行することによる家計にも優しい点をアピール。(20 歳代女性、23 区)

8. 「重大さ・切実さを伝える」に関連した意見

- ◆ 汚染された河川や海や動植物、それと悪臭がする排水管の実際の写真など目をそむけなくなるような事例を作って配布する。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ 海の中の実際に汚れた様子や、動物たちが困ってしまっている様子などをリアルに取り上げた方がよい(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ テレビCM。できるだけショッキングな映像で。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 自分の家庭の排水パイプに大きな影響があり、その結果重大な障害や被害、修繕の為に大きな出費等を紹介する。(60 歳代男性、23 区)

9. 「環境保護・環境への影響を伝える」に関連した意見

- ◆ 台所は川や海とつながっていることをもう少し強調した方が訴える効果が高まるのでは。(60 歳代男性、23 区)
- ◆ もっと人目の付く場所にポスターを貼った方がいいと思う。また、節水などよりも、川や海への影響を大きく取り上げた方が人を動かす力に繋がるのではないかと思う。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 家庭のお皿洗いから海に排出されるまでの小さな模型を作って、実際に油を流してみることができるようにし、よりリアルに海の汚染過程を体感できるようにするのはいかがでしょうか。(30 歳代女性、23 区)
- ◆ 川や海のオイルボールを拾うキャンペーン。(30 歳代女性、23 区)

10. 「ふきとり紙等を景品に配る」に関連した意見

- ◆ PR促進のために、生活必需品（例えば、団扇など）に印刷して配る。（60 歳代男性、多摩地区）
- ◆ 油拭き用の給油ペーパーの無料配布。ボロ布での代用、リサイクルの啓蒙キャンペーン。（30 歳代男性、多摩地区）
- ◆ ふきとりペーパーにかわいいキャラなどをつけて女子高生などに目にとまるようにして、若いころから印象づける。（30 歳代男性、23 区）
- ◆ スーパーなどで皿の油などをふきとれるペーパーを配るイベントを行う。また、水など節約できる数値を大きく前に出しアピールする。（40 歳代女性、23 区）

11. 「油・洗剤等メーカーとタイアップ」に関連した意見

- ◆ 食品会社の製品にも、簡単な、貼りが、あると、より身近になると、良いと思います。（60 歳代女性、23 区）
- ◆ 食器用洗剤容器の目立つ部分に「油污れはふき取ってから洗おう」と入れてもらうよう、各メーカーに頼むのはどうか。（40 歳代女性、多摩地区）
- ◆ 油流しにツヨイ洗剤会社とタイアップし、洗剤の前にふき取りを進める広告を行う。（70 歳以上男性、23 区）
- ◆ 具体的に体験ブースなどを用意し、子供の冬休みや夏休みの宿題に役立つような体験型の催しをしたり、企業とタイアップして企画などをするのも面白い。（30 歳代女性、23 区）

12. 「スーパーでのイベント」に関連した意見

- ◆ やはり大型スーパーなどでのイベント。子供から大人を巻き込むような形にすれば参加人数も増えるので多くの人に知ってもらえるのではないのでしょうか（30 歳代女性、23 区）
- ◆ スーパーでの告知やキャンペーン テレビや学校の総合的な学習の時間を利用した取り組みなどが有効だと思います。（30 歳代女性、多摩地区）
- ◆ すでに取り組まれているが、スーパー店頭など主婦の方が多く集まるような場所での PR が有効だと思います。（30 歳代男性、多摩地区）
- ◆ スーパーなどでパンフレットと油をふき取れるキッチンペーパーや油を固める商品をつけて配る。（30 歳代女性、23 区）

13. 「タレント・著名人の起用」に関連した意見

- ◆ 効果的キャンペーン 1. テレビコマーシャル（人気タレント採用） 2. 無駄な小冊子発行は活用率 10% であり半減（天下り企業との癒着禁止）。（60 歳代男性、23 区）
- ◆ 有名人でボランティア意識の高い人にボランティアで広告してもらう。NHK でただで放送してもらう。（←受信料でなりたっている公共放送なのだから国民に大切な情報は無料で放送する義務があると思う）ためしてガッテンで取り扱ってもらう。（40 歳代女性、多摩地区）
- ◆ 今話題となっているタマちゃんならぬあらちゃんを使うとか、関心を引かせる工夫が必要ではないでしょうか。（70 歳以上男性、多摩地区）
- ◆ 有名タレントを呼んでイベントを行う。（30 歳代男性、多摩地区）

14. 「主婦への訴求」に関連した意見

- ◆ アニメのテレビキャンペーンで子供達から主婦に訴えさせる。(60 歳代男性、多摩地区)
- ◆ イベント来場者のアンケートを載せ、これが 100%になるといくら節約できる、とか、原発何基分のエネルギーを節約できるなど、前向きに努力したくなるようにする。下水道に流すことが節約につながることを強調すると主婦は(直接家計に関係なくても)敏感に反応すると思う。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 台所で揚げ物をするのは主に主婦だと思うので、主婦にもっと訴えかける何かを…(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 主婦層の視聴が多い生活情報 TV 番組に特集として組み込んでもらう。(50 歳代男性、多摩地区)

15. 「その他」の意見

- ◆ キャラクターなどを作ってみてもいいかと思います。キャラクターだとかなりインパクトがあり、若い人にもわかりやすいと思います。キティちゃんが宣伝するだけでもかなり違うと思いますし、独自のキャラクターもいいかと思います。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ アニメ or 漫画。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ 揚げ物の油など、量の多いものについては回収をごみ分別のルールに盛り込んで、再利用したら良いと思う。(60 歳代女性、多摩地区)
- ◆ ゲリラ豪雨・台風による浸水などが心配な時期に、ストップ!!汚水!キャンペーンを行い、雨と下水処理と各家庭の排水とを関連づけ、他人事でないということを意識に植えつける。(30 歳代女性、多摩地区)

6. 自由意見

6-1. 東京都下水道局へのご意見・ご要望など

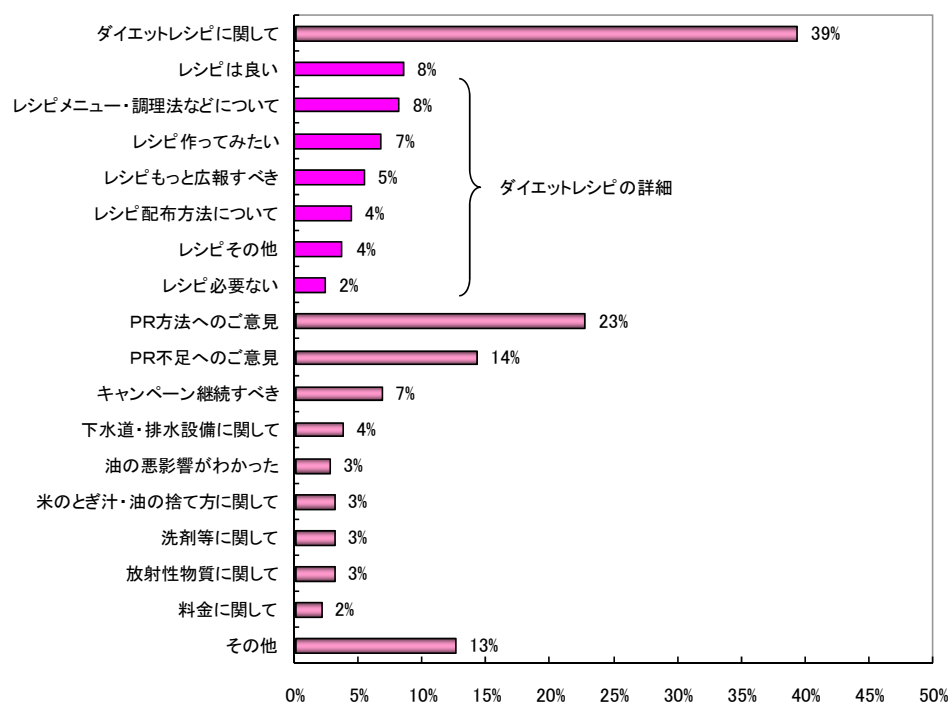
- 東京都下水道局へのご意見としては、「ダイエットレシピ」に関する意見が 39%と最も高く、次いで「PR 方法へのご意見」23%、「PR 不足へのご意見」14%と続く。
- 以下に東京都下水道局へのご意見・ご感想など、多数お寄せいただいたので、一部ご紹介する。

Q16. 「油・断・快適！下水道キャンペーン」や「ダイエットレシピ」などについておたずねしましたが、ご意見やご感想などがございましたらお聞かせください。また、ご家庭の排水について知りたいことや、下水道局に「してほしい」と思うことなどもございましたらお聞かせください。（自由回答）。

図6-1 下水道局へのご意見・ご感想

Q16.下水道局へのご意見・ご要望・ご感想 [自由回答]

全体(n=295)



1. 「ダイエットレシピに関して」のご意見

- ◆ ダイエットレシピは活用させていただきます。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ ダイエットレシピは知らなかったので、今後ぜひ見てみたいと思いました。(20 歳代女性、多摩地区)
- ◆ ダイエットレシピもっと宣伝したらよいと思います。(20 歳代女性、多摩地区)
- ◆ ダイエットレシピに関しては、都内主要駅で配るなど、実際に人の手に渡して口コミで周知を広げることが効果的だと思う。あくまで主観だが、特に主婦層に効果がありそうな感じがする。(20 歳代男性、多摩地区)
- ◆ ダイエットレシピは、下水道局が行う事ではないと思う。(20 歳代女性、23 区)
- ◆ ダイエットレシピを実際に作って試食できるイベントを企画してほしいです。(30 歳代女性、23 区)
- ◆ ダイエットレシピ、どっか小売店とタイアップしてみては？(30 歳代男性、23 区)

2. 「PR方法」へのご意見

- ◆ テレビのニュースで扱ってもらうのが、一番有効だと思います。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ 子供も参加できるようなイベントで学んで楽しめるようなものがあればいいと思います。(30 歳代女性、23 区)
- ◆ キャンペーンをもっと自治体、町内会を通して、ポスターなどで広めたらいいのではないのでしょうか。大雨による下水溝の氾濫など具体的なところから、毎日のちょっとしたことで、下水や生活がより清潔になるという感じで。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ それぞれコストもかかると思いますので、ホームページの各ページの閲覧状況などの統計をおこない、改善したほうが良いとおもいます。ダイエットレシピなど閲覧数が少ないような気がします。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ 下水道局にしてほしいこととしては、都民にもっと下水道を身近に感じられる行事があるといいと思います。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ やはり、具体的に家庭なり、企業なりに実施してもらい、その直接的な効果を数値で示して国民に訴えることがなにより説得力があると思いますので、その辺をもっと強調していただくいいと思いました。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ キャンペーンをもっと噛み砕いて、誰にでもわかるようにし、また危機感を持たせることがいいと思う。たとえば、もし、この油を流したら？どうなるのか、影響が出る順番、範囲を目で見て分かるように説明をする。(30 歳代女性、23 区)

3. 「PR不足」へのご意見

- ◆ このキャンペーンはいいのですが、もっとインパクト（強烈さ）が欲しい。(60 歳代男性、23 区)
- ◆ モニターで色々やっている事は知りました。活動内容自体は素晴らしいのですがその普及活動が控えめなのかと感じます。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ キャンペーンをもっといろんな場所で展開するのも良いのではと思います。(60 歳代男性、多摩地区)

4. 「キャンペーンを継続すべき」に関連したご意見

- ◆ 今のキャンペーンでよいと思います。多くのことを訴えるより、数年かけて幾つか訴えるほうが良いと思います。(40 歳代男性、23 区)

- ◆ この様なキャンペーンは、あきらめず、繰り返し行う努力が必要かと思います。(60 歳代男性、23 区)

5. 「下水道・排水設備に関して」に関連したご意見

- ◆ 排水溝の掃除の仕方を教えて欲しい。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 建築後 20 年以上経過しているが、家庭の排水管のメンテナンスをどのようにしたら良いか具体的に知りたい。例えば付着している油の除去法など。(70 歳以上男性、23 区)

6. 「油の悪影響がわかった」に関連したご意見

- ◆ 気になってはいた、油ものをふき取ってからの洗い物を気をつけて実行したいと思う(30 歳代女性、23 区)
- ◆ 家庭の排水について、油を下水に流すことの悪影響についてよくわかりましたので、それが及ぼす影響の程度や、具体的な事例をあわせて PR していただけるとより強く意識できるかと感じました。(30 歳代男性、多摩地区)

7. 「米のとぎ汁・油の捨て方について」に関連したご意見

- ◆ 油を捨てるとき、どのような方法が 1 番環境に優しいのか知りたい。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 米のとぎ汁の使い方など、教えてもらえると嬉しいです。(20 歳代女性、多摩地区)

8. 「洗剤等に関して」に関連したご意見

- ◆ 排水について、食器洗浄機の洗剤と手洗いの洗剤では泡立ちが違いますが泡の出ない食器洗浄機の洗剤の方が環境に優しいのでしょうか？アクリルたわしなど水だけで落ちる方法も他にいろんなアイデアがあれば知りたいです。(30 歳代女性、23 区)
- ◆ 私は素手で洗い物をするので、熱湯は使わないが、家内や娘はゴム手袋をして洗うので、かなり熱い湯を使っている。油をふき取った後でも、高熱のほうが油分がよく取れるような錯覚をしているのだと思うので、何度くらいが、一番効率的なのかを表現してほしい。(60 歳代男性、23 区)

9. 「放射性物質に関して」に関連したご意見

- ◆ 汚泥の放射能汚染が心配です。汚染されたものも煉瓦になるのですか。(50 歳代女性、23 区)
- ◆ 下水処理施設の放射性廃棄物問題。その後の経過が詳しく知りたいです。(30 歳代男性、23 区)

10. 「料金に関して」に関連したご意見

- ◆ 上水道に対して下水道の大切さの周知が少ない。水道料金の中に下水道に関わる料金も含まれている事を、もっと周知すべきである。(60 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 下水を処理するのに必要なコストたとえば 1 L あたりとか。下水道料金の使い道の明細について。(40 歳代男性、23 区)

11. 「その他」のご意見

- ◆ 禁止だけでなく、利用者にインセンティブを与えるような取り組みが必要ではないでしょうか？例えば、下水道施設を守る、環境を守る生活態度に、何らかのポイントを与えて、そのポイントを利用できるメリットを提供するなどが考えられます。(60 歳代男性、23 区)
- ◆ 下水道管に付着して固まった油の塊（オイルボール）はどのくらいの量があるのだろうと思った。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ 一日でも早く雨水分離の排水が出来ることを願います。(70 歳以上女性、多摩地区)
- ◆ 女性の視点のみのキャンペーンであって事業者や排水設備の強化も検討して欲しい。(40 歳代男性、多摩地区)

以 上